

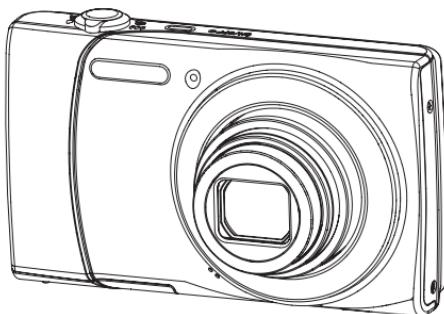
保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

エッチディーシー 1 4 7 1
型式 **HDC-1471**

このたびは、デジタルカメラ「HDC-1471」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド

「とにかく使ってみる」 P166

※はじめに(P6~P13)を必ずお読みいただき、
正しくご使用ください。

i.mega

目次

はじめに

6

| | |
|------------------------|----|
| ■ 安全上のご注意 | 6 |
| ■ あらかじめご承知頂きたいこと | 11 |
| ■ 使用上のご注意 | 12 |
| ■ 商品概要 | 16 |
| ■ 同梱品 | 17 |
| ■ 各部の名称と各ボタンの役割 | 18 |
| ■ 液晶モニターの表示 | 22 |
| ○液晶モニターの表示切替について | 27 |
| ■ 動作確認用ランプの表示 | 28 |

基本操作編

29

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

| | |
|-------------------------|----|
| 準備する | 30 |
| ■ バッテリーを入れる | 30 |
| ■ バッテリーを充電する | 32 |
| ■ 電源のオン／オフ | 33 |
| ■ 日付／時刻を合わせる | 34 |
| ■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する | 36 |
| ■ SDメモリーカードを使う場合 | 38 |
| ■ 初期化する | 40 |

| | |
|--|----|
| 静止画／動画を撮る | 42 |
| ■ 静止画を撮る | 42 |
| ■ ストロボを使う | 45 |
| ■ ズームを使う | 47 |
| ■ AFトラッキング／顔認識／マクロ（近距離）／無限遠（遠距離）モードで撮影する | 49 |
| ■ 動画を撮る | 52 |

| | |
|----------------------|----|
| 静止画／動画を見る | 56 |
| ○ ズーム再生をする | 57 |
| ○ 画像を回転させる | 58 |
| ○ 動画を再生する | 59 |
| 画像を消去する | 60 |
| ○ 1枚ずつ消去する | 60 |
| ○ 全ての画像を消去する | 62 |
| テレビを使って再生／撮影する | 63 |

応用操作編

67

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

| | |
|--------------------------|----|
| 準備について | 68 |
| ■ 言語を設定する | 68 |
| ■ オートパワーオフの時間を設定する | 70 |
| ■ 操作音のオン／オフを設定する | 72 |
| ■ 画面表示を設定する | 74 |
| ■ ファイル番号をリセットする | 76 |
| ■ 液晶モニターの明るさを設定する | 78 |
| ■ プレビューのオン／オフを設定する | 80 |

| | |
|---|-----|
| 撮影(静止画／動画)について | 81 |
| ■ シーンモードを設定する | 81 |
| ○ 笑顔認識モードで撮影する | 83 |
| ○ パノラマアシストモードで撮影する | 84 |
| ■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する | 86 |
| ■ 露出(明るさ)補正を設定する | 89 |
| ○ 露出補正の段階を設定する | 89 |
| ○ 逆光補正モードを設定する | 90 |
| ■ ISO感度(撮像感度)を設定する | 91 |
| ■ ホワイトバランスを設定する | 93 |
| ○ マニュアルホワイトバランスを設定する | 94 |
| ■ シャープネスを設定する | 96 |
| ■ 色効果を設定する | 98 |
| ■ コントラストを設定する | 100 |
| ■ 測光方式を設定する | 102 |
| ■ 手ぶれ補正を設定する | 104 |
| ■ 連写撮影をする | 105 |
| ○ カップル撮影モードで撮影する | 107 |
| ■ クイック撮影をする | 109 |
| ■ 手ぶれ検出で撮影する | 111 |
| ■ セルフタイマーで撮る | 113 |
| ○ タイマー時間を設定して撮影する | 113 |
| ○ 自分撮影機能で撮影する | 115 |
| ■ 日付プリントを設定する | 116 |
| 再生(静止画／動画)について | 117 |
| ■ 赤目を補正する | 117 |
| ■ 明るさを補正する | 119 |
| ■ スライドショー再生をする | 121 |
| ■ 画像プロテクトを設定する | 122 |
| ○ 1枚ずつプロテクトを設定する | 122 |
| ○ 全ての画像のプロテクトを設定する | 124 |
| ■ 撮影後に音声メモを入れる(アフレコ機能) | 126 |
| ■ 音声メモを再生する | 128 |
| ■ 撮影後に画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を変更する | 129 |
| ■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする (コピー to SDメモリーカード機能) | 131 |

| | |
|-----------------|-----|
| 消去について | 133 |
| ■フォーマットする | 133 |

パソコン接続編

135

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ■ パソコンの動作環境を確認する | 136 |
| ■ パソコンと接続する場合の流れ | 136 |
| ① カメラとパソコンを接続する | 137 |
| ② 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ/ライタ接続) | 139 |
| ③ カメラを取り外すときは | 141 |
| ■ パソコン接続でお困りの時の確認方法 | 142 |

付録

147

| | |
|---------------------------------|-----|
| ■ 故障とお考えになる前に | 148 |
| ■ メニュー項目と設定内容 | 156 |
| ■ 仕様 | 158 |
| ■ 索引 | 161 |
| ■ メモリー(SDメモリーカード)内のフォルダ構造 | 162 |
| ■ サービス/ご相談窓口 | 163 |
| ■ クイックスタートガイド | 166 |

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、本製品（カメラ本体、ACアダプター、バッテリー、他付属品）を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警 告



異常が起きたら、バッテリーを外す。

煙が出ている、異臭があるなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。



ACアダプター使用時に、雷が鳴ったらACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く。
火災・発火・感電・故障の原因になります。



移動しながらの撮影は絶対にしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったらバッテリーを外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。



風呂、シャワー室、サウナ室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



水や海水につけたり、端子部を濡らさない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない(ケースは絶対に開けない)。

落としたり、ケースが破損したときは使用しない。

火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。



火に近づけたり、火の中に投げ込まない。

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。



指定外のバッテリーおよびACアダプターを使用しない。

バッテリーの破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。



バッテリーを分解、加工、加熱しない。バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



キーホルダーなどの金属類でバッテリーの端子を接触(ショート)させない。

発熱により、やけど、けがの原因になります。



指定外の方法でバッテリーを使用しない。

バッテリーは極性(+)(-)表示どおりに入れてください。

⚠ 警 告

お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤ってバッテリーを飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。

目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

専用USBケーブルを破損しない

専用USBケーブルを破損しないよう、取り扱いの際は、次のことを守ってください。

・刃物などで傷つけない

・ねじらない ・無理に曲げない

・重いものや角が鋭利なものをのせない

・加熱しない ・引っ張らない

・加工しない ・束ねない

・敷物などでおおわない

万一本体ケーブルが破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグは完全に接続する。

電源プラグの接続が不完全なまま使用すると、接触不良で発熱し、火災の原因になります。

たこ足配線をしない。

火災の原因になります。

電源プラグに異物を付着させない。

電源プラグにほこりや汚れ、金属などの異物が付着したまま使用すると、発熱し、火災や感電の原因になります。異物が付着したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で異物を取り除いてください。

市販の電子式変圧器は使わない。

海外旅行用に市販されている電子式変圧器にACアダプターを接続しないでください。

火災や感電の原因になります。

△ 注意



コネクタ(端子)部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。



大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
バッテリーの消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。



飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる
場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。



本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因
になる場合があります。



カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。
けがや本体の故障の原因になります。



不安定な場所で三脚を使わない。
倒れてけがの原因になります。



三脚をつけたまま持ち運ばない。
持ち運んでいるときの振動や衝撃により、三脚のねじがゆるんで本機が落下し、けがの
原因になることがあります。



かゆみ・かぶれ・湿疹などに注意する。
製品や同梱品の材質には充分な配慮をしておりますが、お客様の体質や体調によっては、
かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、ただちに使用を
止め医師の診断を受けてください。

⚠ 注意



専用USBケーブルや接続ケーブルに注意する。

専用USBケーブルや接続ケーブルに足を引っ掛けると、転倒しただけがの原因になることがあります。



専用USBケーブルを引っ張って抜かない。

ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。



ぬれた手でプラグの抜き差しをしない。

ACアダプターのプラグを抜き差しするときは、ぬれた手で触らないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- ・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- ・万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ・故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- ・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・SDHCロゴは登録商標です。
- ・QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- ・その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0°C～40°C（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。

温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、バッテリー、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮りについて

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。万一、このカメラやSDメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 以下の操作をすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
 - 通信中にUSBケーブルをはずした。
 - 記録、USB接続中にバッテリーをはずした。
 - 消耗したバッテリーを使用し続けた。
 - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
 - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、プロアーでゴミやホコリを吹きとつてから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が見えにくくなったり、光の帯が表示されることがあります、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード(32/64/128/256/512MB/1/2GB対応)とSDHCメモリーカード(4/8/12/16/32GB対応)を使用できます。(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラソリューションズのSDメモリーカードを推奨します。
ご使用の場合は、**SDメモリーカード、SDHCメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。**
miniSD/microSDカードでの動作は保証いたしません。
- 新しいSDメモリーカード、SDHCメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカード、SDHCメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット(初期化) P133**してから使用してください。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする P133**ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア(DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど)へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカードの接触面(コンタクトエリア)にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

ACアダプターのご注意

- 同梱のACアダプターの仕様 **P160**を、あわせてお読みください。
- 本製品に同梱のACアダプターは、本機専用のACアダプターです。本機以外で使わないでください。
- ACアダプターを使用する場合は、カメラの電源をオフにしてから使用してください。
- 電源プラグおよび専用USBケーブルは、しっかりと差し込んでください。
- 接続した際はACアダプターのコードをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。

バッテリー使用時のご注意

- 仕様 P160 を、あわせてお読みください。
- 本製品に同梱のバッテリーは、本機専用の充電式リチウムイオン電池です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーの充電は、同梱の専用ACアダプターと専用USBケーブルをお使いください。
- 充電は10°C~30°Cの温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができない場合があります。
- 完全に使い切った状態から、フル充電になるまでの時間は、約150分です(当社測定基準による)。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- カメラを長時間使用したあとは、バッテリーが熱くなっていますので、すぐに取り出さないようにご注意ください。
- バッテリーは未使用時も自己放電します。はじめてお使いになる場合や長時間ご使用にならなかったバッテリーを使用する場合は、必ず充電してから使用してください。
- 気温の低い場所では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。気温の低い場所でご使用になる場合は、バッテリーを多めにご用意ください。
- リチウムイオン電池は、充電された状態で長時間保存すると特性が劣化する場合があります。長時間使用しない場合は、使い切った状態で保存してください。
- このバッテリーは、リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できますが、規定充電回数(寿命)は約400回ですので、なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップのため微小電流が流れていますので、本機を長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出して保存してください。
- バッテリーを持ち運ぶ場合は、端子間がショートしないように、十分ご注意の上、カメラ本体に取り付けるか、お買い上げ時に入っていた袋に入れて持ち運びください。
- ご使用前にバッテリーの端子が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、乾いた布でよく拭いてからご使用ください。
- 不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。
詳細は、「有限責任中間法人 JBRC」のホームページをご覧ください。
 - ホームページ : <http://www.JBRC.com/>
- また、不要になったバッテリーは、ショートによる発煙・発火の恐れがありますので、端子をテープ等で絶縁してください。

■ 商品概要

本製品は、1400万画素CCDイメージセンサーや、3.0型の大画面液晶モニター、光学7倍ズームレンズを搭載したデジタルカメラです。

主な特長は以下の通りです。

主な特長

- 1400万画素CCDイメージセンサー搭載
- 約46万画素の高画質で3.0型LTPS^(※1)-TFTカラー液晶モニター搭載
- 光学7倍ズームレンズ&デジタル6倍ズーム撮影(デジタルズーム併用時最大42倍)
P47
- 顔認識機能 **P49**
- 手ぶれ補正モード **P104**
- 多彩なシーンモード搭載 **P81**
(プログラムAE、インテリジェントシーン、笑顔認識、手ぶれ補正、パノラマアシスト、人物、風景、スポーツ、夜景人物、夜景、キャンドル、夕日、朝日、スノー、ビーチ、ペット)
- 32MB内蔵フラッシュメモリー&コピー to SDメモリーカード機能 **P131**
- OSDメモリーカード、SDHCメモリーカード^(※2)対応(SDメモリーカードスロット搭載) **P38**
- AV出力端子付き(専用AVケーブル付属) **P63**
- マクロ(20cm~)、スーパーマクロ(2cm~)撮影機能 **P50**
- 音声メモ(アフレコ機能) **P126**
- 音声付き動画撮影機能 **P52**
- 3枚の連写撮影、AE連写、30枚高速連写 **P105**
- 多彩なプリセット、マニュアル撮影機能
(露出 **P89**、ISO感度 **P91**、ホワイトバランス **P93**、シャープネス **P96**、色効果 **P98**、コントラスト **P100**、測光方式 **P102**)
- 多彩な再生モード
(シングル再生、ズーム再生(1.5倍~4倍(0.5ステップ)) **P57**、スライドショー再生 **P121**、音声メモ再生 **P128**、動画再生 **P59**)

(※1) LTPS:低温ポリシリコン

(※2) SDメモリーカード、SDHCメモリーカードは別売です。

■ 同梱品

箱を開けたらカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

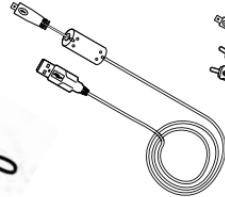
・カメラポーチ



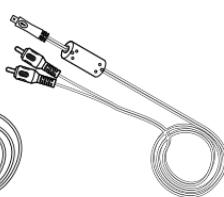
・ストラップ



・専用USBケーブル



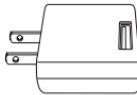
・専用AVケーブル



・専用バッテリー (HLB-5)
(充電式リチウム
イオン電池)



・専用ACアダプター
(HDC-1471-001)



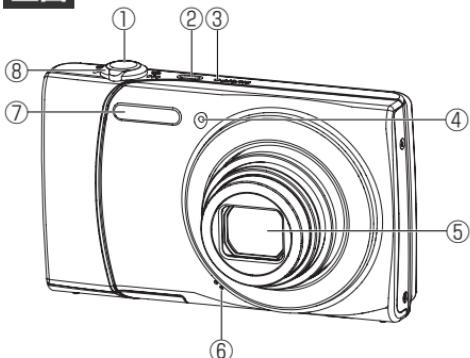
・取扱説明書
(保証書付)



- 以降、この取扱説明書では、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードをSDメモリーカードと統一します。
- SDメモリーカードを使う場合 P38**、**SDメモリーカードについて P14** をあわせてご覧ください。
- 以降、この取扱説明書では、各々の同梱品について“専用”という表記は省略します。

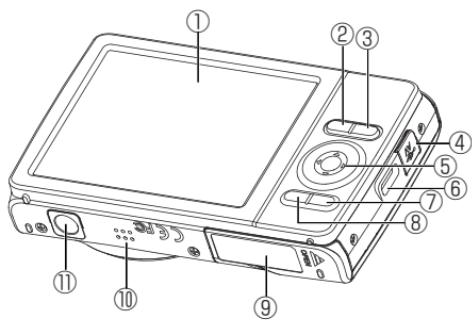
■ 各部の名称と各ボタンの役割

正面



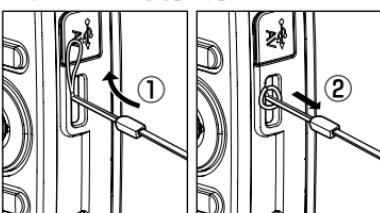
- ①シャッターボタン
- ②電源ボタン
- ③動作確認用ランプ **P28**
- ④セルフタイマーランプ(レッド)
- ⑤レンズ
- ⑥マイク
- ⑦ストロボ
- ⑧ズームレバー

背面

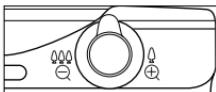


- ①液晶モニター
- ②MODE(モード)ボタン
- ③再生ボタン
- ④USB／AV端子
- ⑤コントロールパネル
- ⑥ストラップ取付部
- ⑦消去ボタン
- ⑧MENU(メニュー)ボタン
- ⑨バッテリー／SDメモリーカードカバー
- ⑩スピーカー
- ⑪三脚ねじ穴

ストラップの取付け方

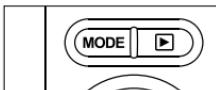


ズームアウト／ズームインレバー



静止画撮影／動画撮影モード時にズーム撮影をする **P47**
場合や、再生モード時にズーム再生 **P57** をする場合に
使用します。

MODEボタン



撮影モード(静止画撮影／動画撮影)を切り替える場合に
使用します。

各モードで設定できる項目や設定内容については、**メニュー項目と設定内容**

P156 をご覧ください。

再生ボタン



撮影した静止画や動画を再生する場合や、再生モードから
撮影モードに戻る場合に使用します。

MENUボタン



各モード時に設定可能なメニューを表示させる場合に使用
します。

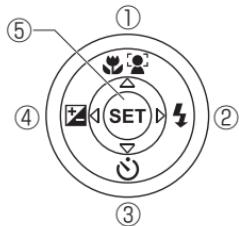
各メニュー表示時に、再度MENU(メニュー)ボタンを押すと、メニュー表示が
キャンセルされ、各モードに戻ります。

消去ボタン



画面時に消去メニューを表示させる場合に使用します。

コントロールパネル



コントロールパネルの各ボタンにはご使用のモードによって、複数の役割があります。

以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

《静止画撮影／動画撮影モード時》

| No. | カメラの表示 | ボタンの名称 | 機能 |
|-----|--------|------------------------------|---|
| ① | | 【▲】上ボタン | 各メニュー画面で上を選ぶ場合に使用します。 |
| | | フォーカス・顔認識機能ボタン [初期設定：オート] | フォーカスマードを切り替える場合や、AFトラッキング P49 、顔認識機能 P49 を使って撮影する場合に使用します。 |
| | | 【▶】右ボタン | 各メニュー画面で右を選ぶ場合に使用します。 |
| ② | | ストロボボタン [初期設定：オート] | 静止画撮影モード時に各ストロボモードを選ぶ場合 P45 に使用します。 |
| | | 【▼】下ボタン | 各メニュー画面で下を選ぶ場合に使用します。 |
| ③ | | セルフタイマーボタン [初期設定：オフ] | セルフトイマー撮影をする場合に使用します P113 |
| | | 【◀】左ボタン | 各メニュー画面で左を選ぶ場合に使用します。 |
| ④ | | EVボタン [初期設定：0.0] | 静止画撮影モード時に、露出補正を設定する場合 P89 に使用します。 |
| | | SETボタン | 各メニュー画面で決定する場合に使用します。 |

〈再生モード時〉

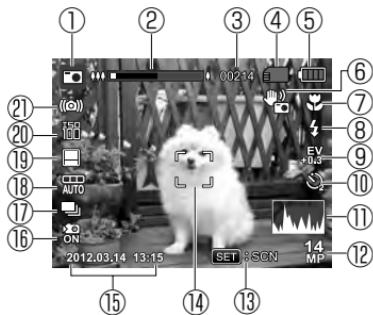
| No. | カメラの表示 | ボタンの名称 | 機能 |
|-----|--------|---------|--|
| ① | | 【▲】上ボタン | 各メニュー画面で上を選ぶ場合や、シングル再生時に10枚単位で後の画像に送る場合 P56 などに使用します。 |
| ② | | 【▶】右ボタン | 各メニュー画面で右を選ぶ場合や一つ後の画像を選ぶ場合などに使用します。 |
| ③ | | 【▼】下ボタン | 各メニュー画面で下を選ぶ場合や、シングル再生時に10枚単位で前の画像に送る場合 P56 などに使用します。 |
| ④ | | 【◀】左ボタン | 各メニュー画面で左を選ぶ場合や一つ前の画像を選ぶ場合などに使用します。 |
| ⑤ | SET | SETボタン | 各メニュー画面で決定する場合や動画再生を開始・一時停止する場合などに使用します。 |

•以降、この取扱説明書では、MODE(モード)ボタン、再生ボタン、MENU(メニュー)ボタン、消去ボタン、コントロールパネルでの操作を次のように表記します。

- ・MODE(モード)ボタン、再生ボタン、MENU(メニュー)ボタン、消去ボタンを押す操作
→MODE、再生、MENU、消去を押す
- ・コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作
→【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
→【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
- ・コントロールパネルでSET押す操作
→SETを押す

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時 静止画を撮る P42



①静止画撮影モードマーク P81

- ▣ オート
- ▣ プログラムAE
- ▣ インテリジェントシーン撮影
- ▣ 笑顔認識
- ▣ 手ぶれ補正
- ▣ パノラマアシスト
- ▣ 人物
- ▣ 風景
- ▣ スポーツ
- ▣ 夜景人物
- ▣ 夜景
- ▣ キャンドル
- ▣ 夕日
- ▣ 朝日
- ▣ スノー
- ▣ ビーチ
- ▣ ペット

②ズームバー P47

③撮影可能枚数 P159

④メモリ P38

INT 内蔵メモリ使用時

SD SDメモリーカード使用時

⑤バッテリー残量 P31

- バッテリーの残量は十分です。
- バッテリーの残量が少なくなっています。
- まもなくバッテリーの残量がなくなります。
- バッテリーの残量がありません。

⑥手ぶれ補正 P104

⑦フォーカスモード P49

(表示なし)オート

- ▣ 顔認識
- ▣ AFトラッキング
- ▣ マクロ(近距離20cm~)
- ▣ スーパーマクロ(近距離2cm~)
- ∞無限遠(遠距離)

⑧ストロボモード P45

(表示なし)オート

- ▣ 強制発光
- ▣ 発光禁止
- ▣ 赤目軽減
- ▣ 夜景フラッシュ

⑨露出(明るさ)補正值 P89

-2.0EV ~ +2.0EV
(※設定値0.0時は非表示)

⑩セルフタイマー P113

(表示なし)オフ

- ▣ 自分撮影
- ▣ 2秒
- ▣ 10秒
- ▣ 10秒+2秒

⑪ヒストグラム P27

⑫画像サイズ **P86**

M 4288×3216
(約1400万画素)

S 3264×2448
(約800万画素)

L 2304×1728
(約400万画素)

M 1600×1200
(約200万画素)

VGA 640×480
(約30万画素)

⑬動作指示アイコン

⑭フォーカスフレーム **P43**⑮日付／時刻 **P34**⑯クイック撮影 **P109**⑰撮影モード **P105**

(表示なし) シングル

3枚連写

AE連写

カップル撮影

30枚高速連写

⑱ホワイトバランス **P93**

オート

白熱灯

蛍光灯1

蛍光灯2

晴天

曇天

マニュアル

⑲画質 **P86**

フайн

スタンダード

エコノミー

⑳ISO **P91**

(表示なし) オート

ISO100相当

ISO200相当

ISO400相当

ISO800相当

ISO1600相当

ISO3200相当

㉑ 手ぶれ注意マーク

■ 動画撮影モード時 動画を撮る P52



① ■ 動画撮影モードマーク

②ズームバー P47

③メモリ P38

■ INT内蔵メモリ使用時

■ SDメモリーカード使用時

④バッテリー残量 P31

■ バッテリーの残量は十分です。

■ バッテリーの残量が少なくなっています。

■ まもなくバッテリーの残量がなくなります。

■ バッテリーの残量がありません。

⑤フォーカスマード P49

(表示なし)オート

■ マクロ(近距離20cm~)

■ スーパーマクロ(近距離2cm~)

∞無限遠(遠距離)

⑥ストロボモード P45

■ 発光禁止

※動画撮影モードではストロボの操作はできません。

⑦セルフタイマー P113

(表示なし)オフ

■ 2秒

■ 10秒

⑧画像サイズ P86

VGA VGA

■ QVGA

⑨撮影時間／撮影可能時間 P159

※撮影開始後は撮影時間を表示

⑩フォーカスマード

⑪日付／時刻 P34

⑫画質 P86

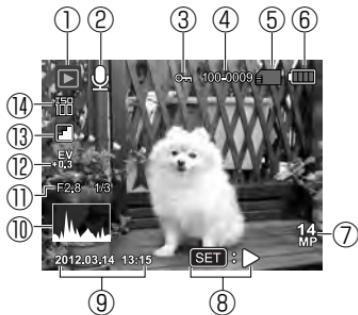
■ フайн

■ スタンダード

⑬音声オフマーク P54

※音声オフ設定の場合

□ 再生モード時(静止画) 静止画・動画を見る P56



① □ 再生モードマーク

② 音声メモマーク **P128**

※音声メモを録音している場合に表示

③ プロテクトマーク **P123**

※プロテクトされている場合に表示

④ フォルダー／ファイル番号 **P76**

⑤ メモリ **P38**

⑥ バッテリー残量 **P31**

⑦ 画像サイズ **P86**

14 4288×3216

(約1400万画素)

8 3264×2448

(約800万画素)

4 2304×1728

(約400万画素)

2 1600×1200

(約200万画素)

VGA 640×480

(約30万画素)

⑧ 動作指示アイコン **P128**

▷ 音声メモ再生

□ 音声メモ停止

⑨ 日付／時刻 **P34**

⑩ ヒストグラム **P27**

⑪ F値／シャッタースピード

⑫ 露出(明るさ)補正值 **P89**

-2.0EV～+2.0EV

(※設定値0.0時は非表示)

⑬ 画質 **P86**

■ フайн

■ スタンダード

■ エコノミー

⑭ ISO **P91**

オート：撮影時のISO値

■ ISO100相当

■ ISO200相当

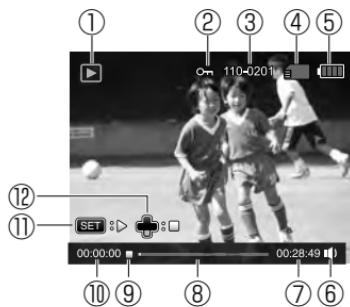
■ ISO400相当

■ ISO800相当

■ ISO1600相当

■ ISO3200相当

【再生モード時(動画)】 動画を再生する **P59**



①再生モードマーク

②プロテクトマーク **P123**

※プロテクトされている場合に表示

③フォルダー／ファイル番号 **P76**

④メモリ **P38**

INT内蔵メモリ使用時

SDメモリーカード使用時

⑤バッテリー残量 **P31**

■ バッテリーの残量は十分です。

□ バッテリーの残量が少なくなっています。

まもなくバッテリーの残量がなくなります。
□ バッテリーの残量がありません。

⑥音量モード

⑦総撮影時間

⑧動画ステータスバー

⑨動作モード

⑩経過時間

⑪動作指示アイコン **P59**

▷ 再生

□一時停止

▷▷ ⏸早送り

⏸⏸ ⏸⏸巻戻し

⑫動作指示アイコン

□停止

液晶モニターの表示切替について

各モードの液晶モニターの表示は、【標準】【全表示】【オフ】から選ぶことができます。[設定]メニューで切り替えます。P74

- ・ 画面時でも動画像の場合は、ヒストグラム表示など画像の詳細表示は表示されません。
- ・ 画面時でも、ズーム再生をすると、ヒストグラム表示などの詳細表示は表示されません。

《ヒストグラムについて》

ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したもので、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げて表します。撮影した画像のヒストグラムの形状を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

・中央を中心とした山の形状になっている場合：

暗い部分、中間の部分、明るい部分がバランスよく撮影された適正露出の画像

・山の高い部分が極端に左側に寄っている形状の場合：

暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像。夜景など黒いものが画像の大部分を占めている場合もこのような形状になります。

・山の高い部分が極端に右側に寄っている形状の場合：

明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像。白いものが画像の大部分を占めている場合にもこのような形状になります。

- ・撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムを表示しています。

撮影前と撮影後では、ヒストグラムに差が生じます。特に、ストロボ発光時や暗い場所での撮影時には、大きく差が出る場合がありますので、撮影後は、

画面(全表示)で確認してください。

- ・他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されない場合があります。

- ・撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もありますので、必ずしも中央を中心とした山の形状になっている場合が適性ではありません。

■ 動作確認用ランプの表示

動作確認用ランプ(グリーン)は、本機の状態や操作を点灯や点滅表示でおしらせします。

| 表示方法 | 操作・状態 | | | |
|------|--|--|--|---|
| | 撮影モード時 | 再生モード時 | パソコン接続時 | 充電時 |
| 点灯 | 電源オン時 | 静止画再生時 | パソコン接続中 | |
| | 動画撮影時 | 動画再生時 | | |
| 点滅 | 内蔵メモリ または SDメモリー カードに アクセスして いるとき(画像の 記録中など) | 内蔵メモリから SDメモリー カードに データをコピー しているとき | 内蔵メモリ または SDメモリー カードに アクセスして いるとき | 充電中 (※正常に充電されて いる場合はゆっくりと 点滅します。 点滅が早い場合は 正常に充電されて いません。) |
| | ストロボ充電中 (静止画撮影 モード時) | 撮影データを 読み込むとき | | |

基本操作編

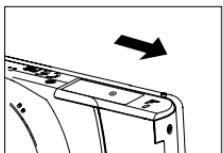
カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

| | |
|--|-----------|
| 準備する | 30 |
| ■ バッテリーを入れる | 30 |
| ■ バッテリーを充電する | 32 |
| ■ 電源のオン／オフ | 33 |
| ■ 日付／時刻を合わせる | 34 |
| ■ 電源周波数(ヘルツ)を設定する | 36 |
| ■ SDメモリーカードを使う場合 | 38 |
| ■ 初期化する | 40 |
| 静止画／動画を撮る | 42 |
| ■ 静止画を撮る | 42 |
| ■ ストロボを使う | 45 |
| ■ ズームを使う | 47 |
| ■ AFトラッキング／顔認識／マクロ(近距離)／無限遠(遠距離) モードで撮影する | 49 |
| ■ 動画を撮る | 52 |
| 静止画／動画を見る | 56 |
| ○ ズーム再生をする | 57 |
| ○ 画像を回転させる | 58 |
| ○ 動画を再生する | 59 |
| 画像を消去する | 60 |
| ○ 1枚ずつ消去する | 60 |
| ○ 全ての画像を消去する | 62 |
| テレビを使って再生／撮影する | 63 |

準備する

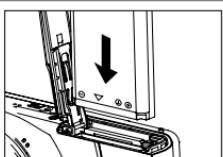
■ バッテリーを入れる

1



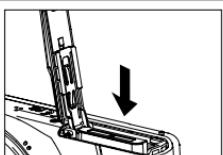
バッテリー／SDメモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2



バッテリーを入れる向き(極性)を確認します。
(バッテリーの極性表示のある面を本体前面側にして入れる)

3



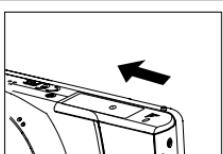
バッテリー側面で、バッテリーロックレバーをずらしながら、バッテリーがロックされるまでしっかりと押し込みます。

●無理に押し込まないでください。



バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックレバーをずらして取り出します。

4



バッテリー／SDメモリーカードカバーを閉じます。

- ・バッテリー／SDメモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度バッテリーを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- ・バッテリーの交換は電源をオフにして行ってください。また、バッテリーが落下しないようにご注意ください。
- ・バッテリー／SDメモリーカードカバーを乱暴に開かないでください。**③** の位置以上には開かないでください。破損する恐れがあります。
- ・記録、USB接続中にバッテリーを取り出すと、内部のデータやSDメモリーカードのデータが破損する恐れがあります。

バッテリー残量の表示

- バッテリーの残量は十分です。
- バッテリーの残量が少なくなっています。
- まもなくバッテリーの残量がなくなります。
- バッテリーの残量がありません。

バッテリーを充電する **P32** か、十分に充電されたバッテリーを使用してください。

- ・使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- ・バッテリー残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

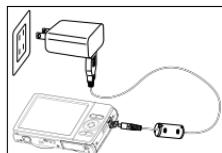
バッテリー使用時のご注意 **P15** 、**仕様 P160** をあわせてお読みください。

■ バッテリーを充電する

- ・バッテリー使用時の注意 P15、仕様 P160 を、あわせてお読みください。
- ・完全に使い切った状態から、フル充電になるまでの時間は、約150分です(当社測定基準による)。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- ・充電は10°C~30°Cの温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができない場合があります。

はじめてお使いになると、バッテリーがなくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。

1



USBケーブルの小さいコネクタをカメラのUSB端子(AV兼用)へ、大きいコネクタをACアダプターへ接続し、電源プラグをコンセントへしっかりと差し込みます。

[USB]メニューが表示されます。

2



【▲】【▼】で [充電] を選び、



SETを押します。

バッテリー残量を示すアイコンが表示された後、液晶モニターがオフになります。

充電中は動作確認ランプ(グリーン)がゆっくりと点滅し、充電が終了すると動作確認ランプは消灯します。

- ・充電中、動作確認ランプの点滅が早い場合は正常に充電されていません。
その場合は、一旦すべての接続をはずし、もう一度 1 2 を繰り返してください。
- ・充電中や充電後はカメラ本体が温かくなりますが、異常ではありません。

ACアダプター(付属)を海外で使用する場合は

ACアダプター(付属)はAC100V~240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外でも使用できますが、アフターサービスは海外ではできません。

- ・電源プラグの形状は滞在先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などで使用可能かどうかをご確認ください。
- ・市販の変圧器などは故障の原因となる場合があるので、使用しないでください。

■ 電源のオン／オフ

1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、レンズが出て、静止画撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

2

液晶モニターが消えるまで電源ボタン押し、電源をオフにします。

- 電源ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。
その場合はゆっくりと操作をやり直してください。
- 操作音の設定が【オン】になっている場合(初期設定は【オン】**P72**)は、
電源オン時に起動音で操作をおしらせします。
- 電源オン時の起動音や起動画面の種類を変更することはできません。

オートパワーオフ機能について

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する(初期設定は[1分]**P70**)と、節電のために自動的に電源がオフになります。

再び使用するときは電源ボタンを操作して電源をオンにしてください。

- USB接続している**P137** 場合やスライドショー再生**P121** をしている場合は、
オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、
その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度
設定し直してください。

液晶モニターについて

本機はオートパワーオフのオン／オフに関わらず、約1分間無操作状態が続くと、バッテリーの消費電力をおさえるため、自動的に液晶モニターを消灯します(動作確認用ランプは点灯したまま)。再度使用する場合は、本体の電源ボタン以外のいずれかのボタンを操作することで液晶モニターが復帰します。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、バッテリーをはずして長時間保管されていた場合など 内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。

その場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- バッテリーをはずして長時間保管されていた場合などは、必ず時計表示を確認してください。
内部時計は約24時間バックアップされます。
- 設定された日付／時刻は、初期化する P40 操作を行っても保持されます。

1



静止画撮影／動画撮影／再生

モードからMENUを押します。

[撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2



[▲] [▼] で [設定] を選び、

SETを押します。

[設定] メニューが表示されます。

3

設定

| | | |
|-----------|------------|--------|
| 日付／時刻 | 2012.03.01 | ◀ |
| 言語 | 日本語 | ▶ |
| オート(パワーオフ | ①1分 | ②OFF |
| MENU：終了 | | SET：設定 |



【▲】【▼】で[日付／時刻]を選び、

SETを押します。

[日付／時刻] 設定画面が表示されます。

4

日付／時刻

| | |
|------------|--------|
| 年／月／日 | |
| 2012/01/01 | |
| 00:00 | |
| MENU：終了 | SET：設定 |



【▲】【▼】で日付の表示を選び、

SETを押します。

日付の設定画面が表示されます。

5

日付／時刻

| | | | | |
|---------|--------|----|---|----|
| [+] | / | 01 | / | 01 |
| - | | | | |
| MENU：終了 | SET：設定 | | | |

【◀】【▶】で項目を選択し、
【▲】【▼】で数値を合わせ、
すべて合わせたら

SETを押します。

- ・時刻を合わせる場合は、手順**4**で時刻の表示を選び、**5**と同様の操作で合わせます。
- ・日付の表示形式を変更したい場合は、手順**4**で表示形式（「年／月／日」「月／日／年」「日／月／年」）を選びます。表示形式の設定画面が表示されたら、**【▲】【▼】**で設定したい表示形式を選び、SETを押して決定します。

■ 電源周波数(ヘルツ)を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電源周波数のお買い上げ時の設定は[50 Hz]が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

- 1** 静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押します。
[撮影]／[再生]メニューが表示されます。
- 2** [▲]【▼】で [設定] を選び、
SETを押します。
[設定] メニューが表示されます。
- 3** [▲]【▼】で [周波数] を選び、
SETを押します。
選択画面が表示されます。

4



【◀】【▶】で[50 Hz] または [60 Hz] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

ここで選んだ電源周波数（ヘルツ）は、初期化する P40 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P14 をあわせてご覧ください。

本機はSDメモリーカード(別売)を使用することができます。

(32/64/128/256/512MB/1/2GB (SD)、4/8/12/16/32GB (SDHC)対応)

SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。

(内蔵32MBフラッシュメモリー搭載)

また**内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする P131** ことも
できます。

・**撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間 P159** をご覧ください。

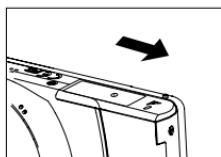
- ご使用中のSDメモリーカードのメモリーサイズや残量の情報は、[設定] メニュー内 [メモリー情報] で確認できます。

SDメモリーカードを挿入していない場合は内蔵メモリの情報が確認できます。

メニュー項目と設定内容 P156

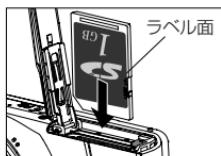
操作方法は、静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押して、各メニューを表示させ、【▲】【▼】で [設定] を選びSETを押します。設定メニューが表示されたら、【▲】【▼】で [メモリー情報] を選びSETを押します。

1



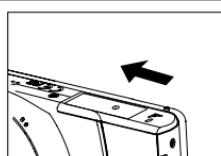
バッテリー／SDメモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2



SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに挿入します。
メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

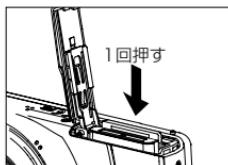


バッテリー／SDメモリーカードカバーを閉じます。

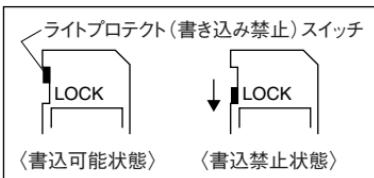
- ・バッテリー／SDメモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度SDメモリーカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- ・SDメモリーカードを挿入するとSDメモリーカードが優先されます。SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を消去することはできません。
- ・SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。
- ・他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット(初期化)したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット(初期化)してから使用してください。
フォーマットする P133
- ・アダプターを使用してのminiSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。

SDメモリーカードを取り出すには

バッテリー／SDメモリーカードカバーを開き、SDメモリーカードを1回押して取り出してください。



SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)について



SDメモリーカードにはライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチがついています。ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カード保護」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期化する

ご使用中に様々な設定をしてしまった後に、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期化します。

1



静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押します。
[撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2



【▲】【▼】で【設定】を選び、



SETを押します。

[設定]メニューが表示されます。

3



【▲】【▼】で【初期化】を選び、



SETを押します。

確認画面が表示されます。

4



【◀】【▶】で【実行】または
【キャンセル】を選び、



SETを押します。

[実行]を選ぶと、各設定を初期化し、[設定]メニューに戻ります。

各項目の初期設定

| 設定項目 | 初期設定 |
|---------------|----------------|
| ストロボモード P45 | オート |
| フォーカスマード P49 | オート |
| シーンモード P81 | オート |
| 露出(EV) P89 | 0.0 |
| セルフタイマー P113 | オフ |
| 画像サイズ P87 | 静止画：14M 動画：VGA |
| ISO感度 P91 | オート |
| 画質 P88 | ファイン |
| ホワイトバランス P93 | オート |
| シャープネス P96 | スタンダード |
| 色効果 P98 | スタンダード |
| コントラスト P100 | 中 |
| 測光方式 P102 | マルチ |
| 手ぶれ補正 P104 | オン |
| 撮影モード P105 | シングル |
| クイック撮影 P109 | オフ |
| デジタルズーム P48 | オフ |
| 手ぶれ検出 P111 | オフ |
| レビュー P80 | オン |
| 日付プリント P116 | オフ |
| オートパワーオフ P70 | 1分 |
| 操作音 P72 | オン |
| 画面表示 P74 | 標準 |
| ビデオ出力 P63 | NTSC |
| 液晶の明るさ P78 | 標準 |
| スライドショー P121 | 5秒 |
| 音声(動画像のみ) P54 | オン |

日付／時刻や言語(初期設定は[日本語] P68)、周波数(初期設定は[50 Hz] P36)の項目は初期化する操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。
メニューと設定項目 P156

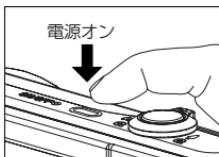
静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

半押しと全押しの操作(感覚)については、実際に撮影される前に必ずお試しください。ためし撮りについて P12

1

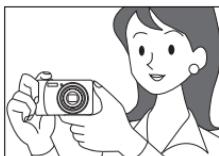


電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P33

2

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。



・横に持つ場合

両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラを
しっかりと固定してください。



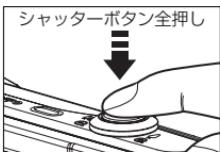
・縦に持つ場合

縦に持つ場合は、レンズよりストロボが上にくる
ようにして、カメラをしっかりと固定してください。

3

被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます(フォーカスロック)。

- ピントが合うと「ピピッ」という音がしてフォーカスフレームの表示がグリーンになります。シャッタースピード、F値の値が液晶モニターに表示されます。
- フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合はフォーカスマードなどを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。ピントについて P44
- パノラマアシストモード時は【◀】【▶】で画像をつなげる方向を選んでからピントを合わせてください。

4

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます(全押し)。

シャッターが切れます。

- 操作音の設定が【オン】になっている場合(初期設定は【オン】 P72)は、シャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- プレビューの設定が【オン】になっている場合(初期設定は【オン】 P80)は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影後に、動作確認用ランプが点滅 P28 している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。
- 笑顔認識モード時は笑顔を認識しないとシャッターが切れません。

ピントについて

- ・ピントが合う範囲は、約60cm(ワイド端(広角側)) / 約1m(テレ端(望遠側)) ~ ∞です(近距離(マクロ)モード時: 約20cm(ワイド端(広角側)) / 約60cm(テレ端(望遠側)) ~ ∞)(近距離(スーパーマクロ)モード時: 約2cm ~ ∞)。
- ・ピント合わせ(半押し時)の状況は、フォーカスフレームの色で確認できます。
- ・スーパーマクロ時はズームすることができません。

| 状況 | フォーカスフレーム |
|--------------|-----------|
| ピントが合ったとき | グリーン |
| ピントが合っていないとき | レッド |

- ・本機のオートフォーカス機能は、コントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式を採用しています。
- ・以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、構図を変更したり、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントをあわせたあと、構図を決めて撮影してください。
 - 階調のない壁などコントラストがはっきりしないもの
 - 画面中央に極端に明るいものがある
 - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
 - 遠いものと近いものが混在する(ガラス越しなど)
 - 動きのはやいもの
 - ピントを合わせたいものが中央にない
 - 暗い場所にある被写体
- ・フォーカスロックされて、ピントが合っても、シャッター ボタンを離すとピントが解除されます。その場合は、もう一度半押ししてピントを合わせてください。
- ・半押ししてピントが合っていないときでも、全押しして撮影することはできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。

手ぶれについて

- ・シャッター ボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。
- ・被写体の明るさやストロボモードの状態(暗い場所でストロボが発光禁止になっているなど)から、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ補正モード **P104** を使用しての撮影をおすすめします。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1



静止画撮影モードで ([▶]) を押します。

ストロボモード選択画面になります。

2



[◀] [▶] で設定したいストロボモードを選び、



SETを押します。

液晶モニターに選んだストロボモードがアイコン表示されます。(ストロボ・オートの場合は表示されません)

| ストロボモード | 設定内容 |
|---------------------------|--|
| オート 初期設定 | 撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。 |
| 強制発光 | 常にストロボを発光させます。 |
| 発光禁止 | ストロボは発光しません。 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなりますので、手ぶれ補正モード P104 を使用して撮影してください。 |
| 赤目軽減 | 暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。 |
| 夜景フラッシュ | フラッシュ撮影によって、夜景と人物が暗くならないように撮りたいときに使用します。 |

- ストロボ撮影の効果の範囲は、約0.3m～約1.8m（▲テレ端（望遠側））／約3.0m（○○○ワイド端（広角側））です。

この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、ISO感度の設定 P91 などによって異なります。

- ここで選んだストロボモードは、初期化する P40 操作を行うとオートモードに戻ります。

- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。

- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。

- シーンモードで笑顔認識／風景／スポーツ／夜景／キャンドル／夕日／朝日／スノーモードに設定している場合 P81 や、撮影モードを[3枚連写]、[AE 連写]、[30枚高速連写]に設定している場合 P105 、■ モードの場合は、ストロボは発光しません。

- 動作確認用ランプ（グリーン）が点滅している場合は、ストロボの充電中で次の撮影はできません。

ストロボの充電には約5秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリー残量によって異なります。

- バッテリー残量が少ない場合は、ストロボの充電ができなくなる場合があります。その場合は、バッテリーを充電してください。

- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。

- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わる場合があります。

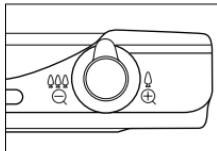
■ ズームを使う

被写体を光学ズーム（7倍）で拡大して撮影できます。（35mmフィルム換算約28mm～約196mm）

デジタルズーム（6倍）と組み合わせて使用すると最大約42倍の撮影ができます。

- 高倍率での撮影は手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ補正モード P104 を使用しての撮影をおすすめします。
- 動画撮影モードは撮影開始後にズーム操作をすることができませんので、撮影開始前に構図を決めてください。

1

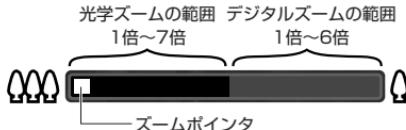


静止画撮影／動画撮影モード時、液晶モニターで被写体を確認しながら、ズームレバーを回してズームを調整します。

広角側 ：広角になります。

望遠側 ：望遠になります。

ズームバーの表示



デジタルズームを使う場合

光学ズームが最も望遠側(7倍)になった状態から、さらに 側に回すと、中央部分をデジタルズームして撮影することができます。

デジタルズームの初期設定は [オフ] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1



静止画撮影／動画撮影モードから MENU を押します。
[撮影] メニューが表示されます。

2



[▲] [▼] で [デジタルズーム] を
選び、



SET を押します。
選択画面が表示されます。

3



[◀] [▶] で [オン] または [オフ] を
選び、



SET を押します。
選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに
戻ります。

ここで選んだデジタルズームの設定は、初期化する P40 操作を行うと [オフ] に戻ります。

■ AFトラッキング／顔認識／マクロ(近距離)／無限遠(遠距離)モードで撮影する

撮影状況、目的に応じてフォーカスマードの設定を選んでください。

| フォーカスマード | 設定内容 |
|-------------|--|
| [] オート | 通常の撮影時に使用するモードです。 約60cm～∞の範囲で、カメラが自動的にピントを合わせます。 |
| [] AFトラッキング | 動きのある被写体にピントを合わせて撮影したい場合に使用するモードです。 <ul style="list-style-type: none"> • 被写体をフォーカスフレームに合わせ、[▼]を押すと、被写体にフォーカスが追従します。この状態でシャッターを半押しすると追従している被写体にフォーカスが合います。 • AFトラッキングを解除する場合は、もう一度[▼]を押します。また、AFトラッキング中にズーム操作を行うとAFトラッキングは解除されます。 |
| [] 顔認識 | 人物の顔にピントを合わせて撮影したい場合に使用するモードです。 <ul style="list-style-type: none"> • 同時に5人までの顔を認識しますが、ピントが合うのは1人になります。 メインの顔に白色の枠が表示され、他の顔には灰色の枠が表示されます。 • どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。 • 顔を認識しない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。 • 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。 顔の向きが正面を向いていない。 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。 |

| 設定内容 | |
|--|---|
|  マクロ  スーパーマクロ | <p>花などをアップにして撮影したい場合に使用するモードです。</p> <p>○撮影可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> マクロ・ズームが  (広角側) いっぱいのとき (ワイド端) : 約20cm~∞ ズームが  (望遠側) いっぱい (光学ズーム7倍) のとき (テレ端) : 約60cm~∞ <p>スーパー・マクロ : 約2cm~∞</p> <p>●近距離撮影時にデジタルズームを使用すると、ピントが合いにくくなりますので、デジタルズームを使用しないことをおすすめします。</p> <p>●ストロボ撮影の効果の範囲は、約0.3m~約1.8m(テレ端()望遠側))、約0.3m~約3.0m(ワイド端( 広角側))です。</p> <p>●近距離撮影時にストロボ撮影をすると、ストロボの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し出される場合がありますので、ご注意ください。</p> |
|  無限遠(遠距離) | <p>遠くの風景などを撮影したい場合に使用するモードです。</p> <p>ピントは∞(無限遠)に固定されます。</p> |

1



静止画撮影モードで  ([▲]) を押します。

フォーカスマード選択画面になります。

2



【◀】【▶】で設定したい
フォーカスマードを選び、

SETを押します。

液晶モニターに選んだフォーカスマードがアイコン表示されます。(フォーカス・オートの場合は表示されません)

- 動画撮影モードでは「AFトラッキング」「顔認識」は選択できません。
- シーンモードで笑顔認識／風景／夜景人物／夜景／キャンドル／夕日／朝日／ペットモードに設定している場合はフォーカスマードに選択できない設定があります。
- ここで選んだフォーカスマードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する** P40 操作を行うとオートに戻ります。

■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、付属のAVケーブルを使用してテレビで見ることができます。

撮影時の音声は初期設定では[オン](音声あり)が設定されていますが、音声なしで撮影することもできます。**動画を音声なしで撮影する P54**

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。
電源のオン／オフ P33

2



MODEを押して動画撮影モードにします。

3



ズームレバーを回してズームを調整します。
ズームを使う P47

ズームの調整は撮影開始後にはできません。

4



シャッター ボタン半押し



撮影を開始する被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます(フォーカスロック)。

・ピントが合うと、「ピピッ」という音がして、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合はフォーカスマードなどを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。

半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。ピントについて P44

5

半押しのまま、シャッター ボタンをさらに押し込みます(全押し)。

- ・撮影を開始します。
- ・撮影中は液晶モニターに撮影時間が表示されます。

6

撮影をストップするときは、シャッター ボタンを押します(全押し)。

撮影をストップします。

- ・撮影に必要なメモリ残量やバッテリー残量がなくなった場合、撮影は自動的にストップします。
- ・連続撮影を25分以上行った場合や1ファイルが4GBを超えた場合、撮影は続きますがファイルが分けられます。

- ・セルフタイマー P113 はできますが、ストロボ撮影はできません。

画像サイズ P87 、画質 P88 、色効果 P98 、フォーカスマード(オート／マクロ／スーパー マクロ／無限遠) P49 のみ設定可能です。

設定可能な項目については、メニュー項目と設定内容 P156 をご覧ください。

- ・ピントやF値、露出補正值などは撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。
- ・磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジやテレビ、携帯電話など)からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像や音声が乱れる場合があります。

■ 動画撮影モードから静止画撮影モードに戻る場合は、MODEを押します。

動画を音声なしで撮影する

撮影時の音声は初期設定では【オン】(音声あり)が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1



■ 動画撮影モードからMENUを押します。

【撮影】メニューが表示されます。

2



【▲】【▼】で【音声】を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で【オン】または【オフ】を選び、

SETを押します。

ここで選んだ音声の設定は、初期化する P40 操作を行うと【オン】に戻ります。

動画ファイルについて

| | |
|--------------------|--|
| 画像サイズ（記録画素数） | VGA: 640X480 QVGA:320X240 |
| 記録画像ファイル フォーマット | AVI (画像データ : Motion JPEG 音声 : WAV (PCM方式) /モノラル) |
| フレームレート | 30フレーム/秒 |
| 記録時間 | 内蔵32MBフラッシュメモリー時：約10秒 SDメモリーカード1GB時：約7分 ※640X480、ファイン時 |

- 記録時間は、あくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
- 動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をパソコンで再生するには、Windows Media Player(※)などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。
(※) Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。その場合は、コーデック(Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張(再生)を行うための専用プログラム)が含まれるDirectX 9.0などの、機能拡張ツールが必要です。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。基本的な再生方法には、シングル再生、ズーム再生(1.5~4倍(0.5ステップ))、画像回転、動画再生があります。

スライドショー再生や音声メモ再生については、**スライドショー再生をする P121**、**音声メモを再生する P128** をご覧ください。

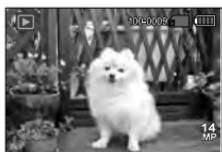
1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P33

2



□を押して再生モードにします。

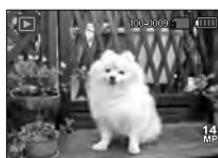
最後に撮影された画像が表示されます
(シングル再生)。

3



【◀】【▶】で画像を選びます。コントロールパネル P20

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。



【▲】【▼】で10枚単位で画像を送ることができます。

【▲】10枚後の画像に送ります。

【▼】10枚前の画像に送ります。

液晶モニターに が表示されている場合は、音声メモ付きの静止画です。記録された音声メモを再生する場合は音声メモを再生する P128 をご覧ください。

ズーム再生をする

シングル再生で表示された画像を、1.5倍～4倍(0.5ステップ)の倍率でズーム再生することができます。

動画はズーム再生できません。

1



【▲】【▼】【◀】【▶】でズーム再生したい静止画を選びます。

2



ズームレバーを ▲ 側に回すごとに0.5ステップで中央部分を拡大して再生します。



3



【▲】【▼】【◀】【▶】で、表示位置を変更します。

4



SETを押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

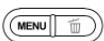
画像を回転させる

1



【▲】【▼】【◀】【▶】で回転させたい
静止画を選びます。

2



MENUを押します。

[再生] メニューが表示されます。

3



【▲】【▼】で [画像回転] を選び、

SETを押します。

4



【◀】【▶】で [左90度] または
[右90度] を選びます。繰り返し
回転させたい場合、【◀】【▶】を同じ
方向に連続して押します。

SETを押します。

動画像を回転させることはできません。

動画を再生する

1



【▲】【▼】【◀】【▶】で再生したい動画像を選びます。

2



SETを押すと、再生をスタートします。

再生をスタートすると、液晶モニターに経過時間を表示します。

再生中の操作

SETを押す：□ 一時停止

【▼】を押す：□ 停止

【▶】を押す：(押すごとに)

▷▷2倍速再生→▷▷4倍速再生→標準再生

【◀】を押す：(押すごとに)

◁◁2倍速逆再生→◁◁4倍速逆再生→標準再生

画像を消去する

画像を消去するには

- ・1枚ずつ消去する
- ・全ての画像を消去する

の2つの方法があります。 □ 再生モードから操作します。

- 一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要な画像（ファイル）かどうかよく確かめてから行ってください。特に全ての画像を消去する場合は、全ての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- 消去中にカメラの電源がオフになると、正しく消去されず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合がありますので、消去する場合は、十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- 画像プロテクト P122 された画像は消去できませんので、画像プロテクトを解除してから操作してください。
- 音声メモ付き静止画を消去すると、画像ファイルと音声ファイルの両方を消去します。

撮影後に音声メモを入れる P126

1枚ずつ消去する

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P33

2



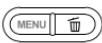
□ を押して再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。

- ・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

4

■を押します。

確認画面が表示されます。

5

【◀】【▶】で【実行】または【キャンセル】を選び、

SETを押します。

- ・[実行]を選ぶと、選んだ画像が消去され、再生モードに戻ります。
 - ・[キャンセル]を選ぶと、消去を中止して、再生モードに戻ります。
- 続けて消去を行う場合は、画像を選び再度 ■を押して操作してください。

全ての画像を消去する

1



② 再生モードからMENUを押します。
[再生] メニューが表示されます。

2



[▲][▼]で [消去] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



[◀][▶]で [全ての画像] を選び、

SETを押します。

• この時点ではまだ消去されていません。

4



[◀][▶]で [実行] または
[キャンセル] を選び、

SETを押します。

- [実行] を選ぶと、全ての画像が消去され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。
- [キャンセル] を選ぶと、消去を中止して、再生モードに戻ります。

テレビを使って再生／撮影する

付属のAVケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

NTSC方式の主な国：日本、アメリカ、韓国、カナダなど

PAL方式の主な国：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

テレビの方式（ビデオ出力）のお買い上げ時の設定は【NTSC】が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1



静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押します。
【撮影】／【再生】メニューが表示されます。

2



【▲】【▼】で【設定】を選び、

SETを押します。

3



【▲】【▼】で【ビデオ出力】を選び、

SETを押します。

4



【◀】【▶】で [NTSC] または
[PAL] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し [設定] メニューに
戻ります。

5

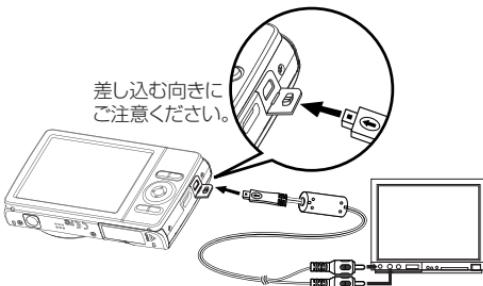


電源ボタンを押して電源をオフにします。

ここで選んだテレビの方式は、初期化する P40 操作や、電源をオフにした後も
保持されます。

1 テレビと接続する前に P63 に従って、テレビの方式を確認し、カメラの電源をオフにします。

2 AVケーブル(付属)のミニプラグをカメラのAV端子(USB兼用)に差し込みます。



3 AVケーブルの黄色いピンプラグを、テレビの映像入力端子に、白いピンプラグを音声入力端子に接続します。

4 テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。

5 カメラの電源をオンにします。
テレビに画像が表示されます。
電源のオン／オフ P33



- AVケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。
- 接続した際は、AVケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。応用操作編の各項の「モード」の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

| | |
|---|------------|
| 準備について | 68 |
| ■ 言語を設定する | 68 |
| ■ オートパワーオフの時間を設定する | 70 |
| ■ 操作音のオン／オフを設定する | 72 |
| ■ 画面表示を設定する | 74 |
| ■ ファイル番号をリセットする | 76 |
| ■ 液晶モニターの明るさを設定する | 78 |
| ■ プレビューのオン／オフを設定する | 80 |
| 撮影(静止画・動画)について | 81 |
| ■ シーンモードを設定する | 81 |
| ■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する | 86 |
| ■ 露出(明るさ)補正を設定する | 89 |
| ■ ISO感度(撮像感度)を設定する | 91 |
| ■ ホワイトバランスを設定する | 93 |
| ■ シャープネスを設定する | 96 |
| ■ 色効果を設定する | 98 |
| ■ コントラストを設定する | 100 |
| ■ 測光方式を設定する | 102 |
| ■ 手ぶれ補正を設定する | 104 |
| ■ 連写撮影をする | 105 |
| ■ クイック撮影をする | 109 |
| ■ 手ぶれ検出で撮影する | 111 |
| ■ セルフタイマーで撮る | 113 |
| ■ 日付プリントを設定する | 116 |
| 再生(静止画・動画)について | 117 |
| ■ 赤目を補正する | 117 |
| ■ 明るさを補正する | 119 |
| ■ スライドショー再生をする | 121 |
| ■ 画像プロテクトを設定する | 122 |
| ■ 撮影後に音声メモを入れる(アフレコ機能) | 126 |
| ■ 音声メモを再生する | 128 |
| ■ 撮影後に画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を変更する | 129 |
| ■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする(COPY to SDメモリーカード機能) | 131 |
| 消去について | 133 |
| ■ フォーマットする | 133 |

■ 言語を設定する

モード：■ 静止画撮影／■ 動画撮影／■ 再生

MENUなどの言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語

英語(English)

簡体字(简体中文)

繁体字(繁體中文)

- 言語のお買い上げ時の設定は[日本語]が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。
- ここで選んだ言語は、**初期化する P40** 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

1



MENUを押して各メニューから、



[▲] [▼]で[設定]を選び、



SETを押して、[設定]メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で【言語】を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。**3**SETを押します。
選んだ内容を保持し、【設定】メニューに
戻ります。

■ オートパワーオフの時間を設定する

モード： 静止画撮影 / 動画撮影 / 再生

オートパワーオフの時間 [オフ] / [1分] / [初期設定] / [2分] / [3分] を設定できます。

オートパワーオフ機能について P33 ➤

1



MENUを押して各メニューから、

[▲] / [▼] で [設定] を選び、

SETを押して、[設定] メニューを表示させます。

2



[▲] / [▼] で [オートパワーオフ] を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で[オフ]、[1分]、[2分]、
[3分]のいずれかを選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定]メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されます
が、初期化する P40 操作を行うと[1分]に戻ります。
- USB接続 P137 をしている場合やスライドショー再生 P121 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、
その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度
設定し直してください。

液晶モニターについて

本機はオートパワーオフのオン／オフに関わらず、約1分間無操作状態が続くと、バッテリーの消費電力をおさえるため、自動的に液晶モニターを消灯します(動作確認用ランプは点灯したまま)。再度使用する場合は、本体の電源ボタン以外のいずれかのボタンを操作することで液晶モニターが復帰します。

■ 操作音のオン／オフを設定する

モード： 静止画撮影 / 動画撮影 / 再生

操作音の【オン】 **初期設定** ／【オフ】を設定できます。

1



MENUを押して各メニューから、

【▲】【▼】で【設定】を選び、

SETを押して、【設定】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【操作音】を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で[オン]または[オフ]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定]メニューに戻ります。

- ここで選んだ操作音の[オン]／[オフ]は、電源をオフにした後も保持されます
が、初期化する P40 操作を行うと[オン]に戻ります。
- カメラを持った時スピーカー P18 を指でふさぐと操作音が小さくなります
のでご注意ください。

■ 画面表示を設定する モード：■ 静止画撮影／■ 動画撮影／■ 再生

画面表示を【標準】／【初期設定】／【全表示】／【オフ】から選ぶことができます。

1



MENUを押して各メニューから、

【▲】【▼】で【設定】を選び、

SETを押して、【設定】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【画面表示】を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で【標準】、【全表示】、
【オフ】のいずれかを選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定]メニューに
戻ります。

ここで選んだ画面表示は、電源をオフにした後も保持されますが、初期化する

P40 操作を行うと【標準】に戻ります。

■ ファイル番号をリセットする

モード： 静止画撮影 / 動画撮影 / 再生

次に撮影される画像ファイル番号を0001から記録したい場合に使用します。

フォルダ名とファイル名の基本ルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。ファイル番号をリセットする操作を行うと、新しいフォルダが作成され、ファイル番号が0001から始まります。

フォルダ名について：

XXX_HCAM

フォルダの通し番号(100~999)

ファイル名について：

HIMGYYYY.JPG

ファイルの通し番号(0001~9999)

(音声ファイルは.WAV)
(動画ファイルは.AVI)

- フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた場合や、ファイル番号をリセットする操作を行った場合に一つあがります。
- 詳しいフォルダ構造については、SDメモリーカード内のフォルダ構造 P162をご覧ください。

1



MENUを押して各メニューから、

【▲】【▼】で【設定】を選び、

SETを押して、【設定】メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で[ファイル番号リセット]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

**3**

【◀】【▶】で[実行]または
[キャンセル]を選び、

SETを押します。

- ・[実行] を選ぶと、ファイル番号をリセットし、[設定] メニューに戻ります。
- ・[キャンセル] を選ぶと、ファイル番号リセットを中止して、[設定] メニューに戻ります。

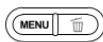


■ 液晶モニターの明るさを設定する

モード：□ 静止画撮影／□ 動画撮影／□ 再生

液晶モニターの明るさを [標準] □ [初期設定] □ [明るい] から選ぶことができます。

1



MENUを押して各メニューから、

【▲】【▼】で [設定] を選び、

SETを押して、[設定] メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で [液晶の明るさ] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で【標準】または【明るい】を選び、



SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

- ここで選んだ液晶モニターの明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、初期化する P40 操作を行うと【標準】に戻ります。
- ここで選んだ液晶モニターの明るさは、撮影する画像には反映されません。撮影画像の明るさを設定する場合は、露出(明るさ)補正を設定する P89 をご覧ください。

■ プレビューのオン／オフを設定する

モード：  静止画撮影

静止画撮影モードで、撮影後に撮影画像を表示するプレビューの【オン】 / 【オフ】を設定できます。

1



MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【プレビュー】を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で【オン】または【オフ】を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、【撮影】メニューに戻ります。

- ここで選んだプレビューの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する P40** 操作を行うと【オン】に戻ります。
-  動画撮影時はプレビュー表示できません。

撮影(静止画・動画)について

■ シーンモードを設定する

モード：  静止画撮影

様々なシーンにあわせて、シーンモードを設定すると、カメラがそのシーンに最適なモードで撮影します。

| シーンモードの種類 | 設定内容 |
|---|---|
|  オート | 特殊機能や手動調整なしに画像を撮影します。 |
|  プログラムAE | 各種撮影設定をマニュアルで設定できます。 |
|  インテリジェント シーン撮影 | シーンにあわせてカメラが自動的に最適なモード(オート、風景、人物、夜景、夜景人物、マクロ)を選択し撮影します。 |
|  笑顔認識 P83 | 笑顔を認識し、自動で3枚連写撮影を行います。 |
|  手ぶれ補正 | 高感度撮影と早いシャッタースピードで、手ぶれを補正します。 |
|  パノラマアシスト P84 | カメラを平行移動させながら撮影した3枚の画像を1枚のパノラマ写真として保存できます。 |
|  人物 | 背景をソフトな感じに仕上げ、人物を引き立てます。 |
|  風景 | 焦点距離を遠景に設定し、風景をくっきりと撮影できます。 |
|  スポーツ | シャッタースピードを上げて撮影し、動いている被写体の撮影に適しています。 |
|  夜景人物 | 夜景・人物ともきれいに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。 |
|  夜景 | 暗い雰囲気を保ち、夜景をきれいに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。 |
|  キャンドル | キャンドルの光のもとで、自然な色合いで撮影できます。 |
|  夕日 | 夕焼けを赤く鮮やかに撮影できます。 |
|  朝日 | 朝焼けをくっきりと鮮やかに撮影できます。 |
|  スノー | 背景の明るい雪景色などで、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。 |
|  ビーチ | 日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。 |
|  ペット | シャッタースピードを上げて撮影し、動きの速いペットの撮影に適したモードです。 |

スローシャッターのシーンモードの場合は、三脚を使用するなどしてカメラをしっかりと固定して撮影してください。

1



SETを押してシーンモード設定画面を表示させます。

2



[▲] [▼] [◀] [▶]で設定したいシーンモードを選び、



SETを押します。

選んだシーンモードの静止画撮影モードになります。

シーンモード設定画面に戻る場合は、再びSETを押します。

選んだシーンモードによっては設定を変更できないメニュー項目があります。

全てのメニュー項目を選択したい場合は、「プログラムAE」を選択してください。

笑顔認識モードで撮影する

笑顔を認識し、自動で3枚連写撮影を行うモードです。

1



SETを押してシーンモード設定画面を表示させます。

2



【▲】【▼】【◀】【▶】で[笑顔認識]を選び、



SETを押します。

液晶モニターに「笑顔認識オン」と表示され、笑顔認識モードになります。

3



被写体の顔が認識されたらシャッターボタンを半押しします。白色の枠の顔にピントが合い枠の色が緑色になります。

4



顔にピントを合わせたままシャッターボタンを全押しします。「笑顔待ち」と表示され、笑顔が認識されると自動で3枚連写撮影を行います。
「認識できません」と表示された場合は再度撮影してください。

- 笑顔認識モードでは[3枚連写]が設定されストロボ撮影はできませんが、撮影モードを[シングル]に変更 P106 することで、ストロボ撮影をすることができます。ただし、電源をオフにすると[3枚連写][発光禁止]に戻ります。
- 笑顔でも歯が見えていない場合など、笑顔と認識しない場合もあります。

パノラマアシストモードで撮影する

カメラを平行移動させながら撮影した3枚の画像を1枚のパノラマ写真として保存できます。

1



SETを押してシーンモード設定画面を表示させます。

2



【▲】【▼】【◀】【▶】で【パノラマアシスト】を選び、



SETを押します。

パノラマアシストモードになります。

3



【◀】【▶】で画像をつなげる方向を選びます。

4



シャッターボタンを押し、撮影します。

1枚目の画像が撮影され、2枚目を撮影する画面が表示されます。

手順③で【▶】を選んでいる場合：

画面の左端に、1枚目に撮った画像の右端部分が透過表示されます。

手順③で【◀】を選んでいる場合：

画面の右端に、1枚目に撮った画像の左端部分が透過表示されます。

5



カメラを平行移動し、2枚目の画像を撮影します。

同様にして3枚目の撮影を終了すると、カメラが自動的に3枚の画像をつなげ1枚のパノラマ写真として保存します。

- ・パノラマアシストモード時は、顔認識機能、連写機能は働きません。
- ・パノラマアシストモード時は、画像サイズは【2M】に限定されます。

■画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する

モード： 静止画撮影 / 動画撮影

目的に応じて、画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定できます。

画像サイズを大きくし、画質をファインになると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、記録できる画像枚数が少なくなります。

以下の内容を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

[静止画]

| 項目 | 設定内容 | | 用途の目安 |
|------------------|--|----------|---|
| 画像サイズ (記録画素数) | 14 MP 4288×3216 (約1400万画素) | 大きい ↑ | 大切な画像を撮影したり、A3サイズなど大きくプリントしたい場合 |
| | 8 MP 3264×2448 (約800万画素) | ↓ | L判サイズでプリントしたい場合 |
| | 4 MP 2304×1728 (約400万画素) | ↓ | より多くの画像を撮影したい場合や、メール添付用などインターネット上で使用したい場合 |
| | 2 MP 1600×1200 (約200万画素) | ↓ | より良い画質で撮影やプリントしたい場合(画質優先) |
| | VGA 640×480 (約30万画素) | 小さい ↓ | より多くの画像を撮影したい場合(撮影枚数優先) |
| 画質 | <input checked="" type="checkbox"/> ファイン (低圧縮モード) | 低圧縮 ↑ | より良い画質で撮影やプリントしたい場合(画質優先) |
| | <input type="checkbox"/> スタンダード (標準圧縮モード) | ↓ | より多くの画像を撮影したい場合(撮影枚数優先) |
| | <input type="checkbox"/> エコノミー (高圧縮モード) | 高圧縮 ↓ | |

[動画]

| 項目 | 設定内容 | | 用途の目安 |
|------------------|--|---------------|--------|
| 画像サイズ (記録画素数) | VGA 640×480 | 大きい ↑ ↓ | 画質優先 |
| | VGA 320×240 | 小さい ↓ | 撮影時間優先 |
| 画質 | <input checked="" type="checkbox"/> ファイン (低圧縮モード) | 低圧縮 ↑ ↓ | 画質優先 |
| | <input type="checkbox"/> スタンダード (標準圧縮モード) | 高圧縮 ↓ | 撮影時間優先 |

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する P40** 操作を行うと静止画の画像サイズは $\frac{1}{16}$ [4288×3216] に、画質は [ファイン] に、動画の画像サイズはVGA [640×480] に、画質は [ファイン] に戻ります。
- 静止画の画像サイズ、画質は撮影後に変更することができます。
撮影後に画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を変更する P129

画像サイズを設定する

1

MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で【画像サイズ】を選び、
SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で設定したい画像サイズを
選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに
戻ります。

画質を設定する

1



MENUを押して [撮影] メニューを
表示させます。

2



【▲】【▼】で [画質] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で設定したい画質を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに
戻ります。

■ 露出(明るさ)補正を設定する

モード：  静止画撮影

逆光時の撮影や、間接照明の室内での撮影、背景が明るい場所での撮影など被写体が暗くなってしまった場合に露出を補正できます。

露出を補正する方法には、

- ・露出補正の段階を設定して撮影する方法 
 - ・逆光補正モード  で撮影する方法
- があります。

露出補正の段階を設定する

設定できる露出補正の段階（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：
-2.0、-1.7、-1.3、-1.0、-0.7、-0.3、0.0、+0.3、+0.7、+1.0、+1.3、+1.7、+2.0



1



 ([◀]) を押して、露出補正值を表示させます。

2



液晶モニターで確認しながら
[◀] [▶] で露出補正の段階(露出
補正值)を選び、



SETを押します。

液晶モニターに選んだ露出補正值が表示さ
れます。

- ヒストグラムを確認しながら、露出補正の段階を設定するとより効果的な補正ができます。
ヒストグラム表示については、**液晶モニターの表示切替について P27** をご覧ください。
- ここで選んだ露出補正值は、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期化する P40** 操作を行うなどすると [0.0] に戻ります。ただしプログラムAEモードのみ、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにした後も保持されます。
- 本機には露出補正の段階を自動的に変えながら連写撮影(3枚)する**AE連写モード**が搭載されています。
詳しくは、**連写撮影をする P105** をご覧ください。
- 笑顔認識モード、人物モードに設定している場合は露出補正の段階を設定できません。

逆光補正モードを設定する

シーン：人物モード

逆光補正モードを設定するには、シーンモードが [人物] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する

1



シーンモード：人物で ([◀]) を押します。

液晶モニターに が表示されます。

- ・ 逆光補正モードを解除する場合は、もう一度 ([◀]) を押します。

- 逆光補正モードはシャッターボタン半押し時に有効になります。
半押ししても適正な露出が得られない場合は、**露出補正の段階を設定する P89** に従って、露出補正の段階を設定してください。
- ここで設定した逆光補正モードは、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期化する P40** 操作を行うなどすると解除されます。

■ ISO感度(撮像感度)を設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE

ISO感度を設定できます。

ISO感度とは、写真用フィルムの感度を表す単位で、光を感じる能力を数値化したもので。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光(暗い場所)での撮影が可能になりますが、画像にノイズが増えます。

ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

オート：カメラが自動的に撮像感度を設定します。**初期設定**

- | | | |
|--------|------------|---------|
| ■ 100 | ：ISO100相当 | ↑ 感度が低い |
| ■ 200 | ：ISO200相当 | |
| ■ 400 | ：ISO400相当 | |
| ■ 800 | ：ISO800相当 | |
| ■ 1600 | ：ISO1600相当 | |
| ■ 3200 | ：ISO3200相当 | ↓ 感度が高い |

ISO感度を設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する P81

1



MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で[ISO]を選び、



SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で [オート]、[100]、
[200]、[400]、[800]、[1600]、
[3200] のいずれかを選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに
戻ります。

- ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、初期化する
P40 操作を行うと [オート] に戻ります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモードでISO感度を設定
できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると
[オート] に戻ります。

■ ホワイトバランスを設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE

撮影時の光源に合わせて、被写体をより自然な色合いで撮影できるホワイトバランスを設定できます。

(表示なし) オート(色温度：約2500～7500K)：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。

- 白熱灯：白熱灯下での撮影(色温度：約2800K)
- 蛍光灯1：蛍光灯下での撮影(色温度：約4200K)
- 蛍光灯2：蛍光灯下での撮影(色温度：約5000K)
- 晴天：太陽光での撮影(色温度：約4800K)
- 曇天：曇天での撮影(色温度：約6700K)
- マニュアル：白い紙などを使って、その場の光源に合わせて手動で設定します。

ホワイトバランスを設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する P81

1



MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【ホワイトバランス】を選び、



SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】でホワイトバランスの種類を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期化する P40 操作を行うと [オート] に戻ります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ補正モードでホワイトバランスを設定できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると [オート] に戻ります。

マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙などの白い被写体をして、その場の光源で最適なホワイトバランスを設定できます。

特に以下のような場合は、オートモードではホワイトバランスが調整できない場合がありますので、マニュアルホワイトバランスを設定することをおすすめします。

- 近距離(マクロ)で撮影する場合
- 単一な色の被写体(空、海など)を撮影する場合
- 水銀灯など特殊な光源下で撮影する場合

1

上記手順**3**で [マニュアル] を選び、

SETを押します。

2

【◀】【▶】で【新規設定】を選び、



SETを押します。

マニュアルWB設定画面が表示されます。

3

カメラを白い紙などに向け【◀】【▶】で【実行】を選び、



SETを押します。

【実行】を選ぶと、マニュアルWBを設定し静止画撮影モードに戻ります。

- 一度設定したマニュアルホワイトバランスは、再度白データを取り込まない限り、保持されます。
- 撮影をする場合は、白データを取り込んだときと同じ条件下で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが得られない場合があります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ補正モードでマニュアルホワイトバランスを設定できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると【オート】に戻ります。

■ シャープネスを設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE

撮影画像のシャープネス（鮮鋭度）を設定できます。

ハード : 鮮鋭度が高い

スタンダード : **初期設定**

ソフト : 鮮鋭度が低い

シャープネスを設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する P81

1



MENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2



[▲][▼]で [シャープネス] を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



[◀][▶]で [ハード]、[スタンダード]、
[ソフト] のいずれかを選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する P40** 操作を行うと【スタンダード】に戻ります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ補正モードでシャープネスを設定できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると【スタンダード】に戻ります。

■ 色効果を設定する

モード： 静止画撮影 / 動画撮影
シーン： プログラムAE

撮影画像の色効果を設定できます。

スタンダード：通常の撮影時の設定です。 **初期設定**

ビビット：コントラストと色の濃さを強調し、よりくっきりとした色合いで撮影します。

セピア：セピア色で撮影します。

モノクロ：モノクロで撮影します。

ブルー：ブルーで撮影します。

レッド：レッドで撮影します。

グリーン：グリーンで撮影します。

イエロー：イエローで撮影します。

パープル：パープルで撮影します。

色効果を設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。 **シーンモードを設定する P81**

1



MENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2



[▲] [▼] で [色効果] を選び、



SETを押します。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で設定したい色効果の種類を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する**
P40 操作を行うと[スタンダード]に戻ります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ補正モード、人物モードで色効果を設定できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると[スタンダード]に戻ります。

■ コントラストを設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE

撮影画像のコントラスト（明暗の差）を設定できます。

高：明暗がはっきりする

中：初期設定

低：明暗が平坦になる

コントラストを設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する P81

1



MENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2



[▲][▼]で [コントラスト] を選び、



SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



[◀][▶]で [高]、[中]、[低] のいずれかを選び、



SETを押します。
選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだコントラストは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する** P40 操作を行うと【中】に戻ります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ補正モードでコントラストを設定できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると【中】に戻ります。

■ 測光方式を設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE

測光方式を切り替えて撮影できます。

マルチ：中央部重点平均測光で、画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。 **初期設定**

スポット：液晶モニター中央部のフォーカスフレーム内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたい場合に使用します。

アベレージ：液晶モニター画面全体を平均的に測光します。

測光方式を設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。 **シーンモードを設定する P81** ➤

1



MENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2



[▲] [▼] で [測光方式] を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



[◀] [▶] で [マルチ]、[スポット]、
[アベレージ] のいずれかを選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだ測光方式は、電源をオフにした後も保持されますが、初期化する
P40 操作を行うと【マルチ】に戻ります。
- プログラムAEモードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ補正モードで測光方式を設定できますが、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにすると【マルチ】に戻ります。

■ 手ぶれ補正を設定する

モード：  静止画撮影

静止画撮影モードで、手ぶれ補正の [オン]  / [オフ] を設定できます。

1



MENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2



[▲][▼] で [手ぶれ補正] を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



[◀][▶] で [オン] または [オフ] を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

ここで選んだ手ぶれ補正の設定は、電源をオフにした後も保持されますが、
初期化する P40 操作を行うと [オン] に戻ります。

■ 連写撮影をする

モード： 静止画撮影

本機は連写撮影をすることができます。

連写撮影には、

3枚連写：3枚（およそ1～2秒間隔）の連写撮影ができます。

AE連写：露出補正の段階を自動的に変えながら3枚（0.0、-0.7EV、+0.7EV）の連写撮影ができます。

被写体の明るさによってうまく撮影できない場合などに、AE連写で撮影すると、撮影後に最適な露出の画像を選ぶことができます。

（AE：Auto Exposureの略）

30枚高速連写：約5秒間に30枚の連写撮影ができます。画像サイズはVGA（640×480）に限定されます。

の3種類があります。目的に応じて設定してください。

- 画像サイズや画質の設定によって、連写撮影の間隔が異なることがあります。
- 各シーンモードによっては設定できない場合があります。

1



MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【撮影モード】を選び、



SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で[3枚連写]、[AE連写]、
[30枚高速連写]のいずれかを選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

[シングル] は通常の1枚ずつ撮影するモードです。連写から通常の撮影に戻す場合はこちらを選択します。 **初期設定**

[カップル撮影] は連続して撮影した2枚の画像を1枚の画像として保存できるモードです。 **P107**

4

MENUを押して、[撮影] メニューを終了します。

画面表示を[全表示]に設定している場合は、液晶モニターに選んだ連写モードのアイコンが表示されます。

5

被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。ピントについて P44

6

半押しのまま、シャッター ボタンをさらに押し込みます(全押し)。

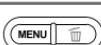
- 操作音の設定が【オン】になっている場合(初期設定は【オン】 P72)は、シャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- 撮影後に、動作確認用ランプが点滅 P28 している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中のため、次の撮影はできません。

- ここで選んだ撮影モードは、シーンモードを変更したり、電源をオフにしたり、初期化する P40 操作を行うなどすると【シングル】に戻ります。ただし、プログラムAEモードの場合は初期化する操作を行った場合のみ【シングル】に戻ります。
- 連写モードを選んでいる場合は、ストロボは発光しません。④モードになります。

カップル撮影モードで撮影する

[カップル撮影]は連続して撮影した2枚の画像を1枚の画像として保存できるモードです。

各シーンモードによっては設定できない場合があります。

1

MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で【撮影モード】を選び、



SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で[カップル撮影]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]メニューに戻ります。

4

MENUを押して、[撮影]メニューを終了します。

画面表示を[全表示]に設定している場合は、液晶モニターにカップル撮影のアイコンが表示されます。

5

シャッターボタンを押して1回目の撮影をします。

1回目を撮影すると左半分に保存される画像が透過表示されます。

6

続けて2回目の撮影します。

撮影を終了すると自動的に1枚の画像として保存されます。

- ここで選んだ撮影モードは、シーンモードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期化する P40** 操作を行うなどすると[シングル]に戻ります。ただし、プログラムAEモードの場合は初期化する操作を行った場合のみ[シングル]に戻ります。
- 連写モードを選んでいる場合は、ストロボは発光しません。④発光禁止モードになります。

■ クイック撮影をする

モード：■ 静止画撮影

クイック撮影を[オン]に設定するとピントを合わせることなく即座に撮影できます。
(初期設定は[オフ])

1



MENUを押して[撮影]メニューを表示させます。

2



[▲][▼]で[クイック撮影]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



[◀][▶]で[オン]または[オフ]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]メニューに戻ります。



4

MENUを押して、[撮影]メニューを終了します。

画面表示を「全表示」に設定している場合は、液晶モニターにクイック撮影のアイコンが表示されます。

5

被写体にカメラを向けてシャッターボタンを全押しします。

ここで選んだクイック撮影のオン／オフは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期化する P40** 操作を行うと【オフ】に戻ります。

■ 手ぶれ検出で撮影する

モード：  静止画撮影

手ぶれ検出を[オン]に設定すると3枚連写撮影され、撮影後に最も手ぶれの少ない画像を選ぶことができます。（初期設定は[オフ]）

1



MENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2



[▲][▼]で [手ぶれ検出] を選び、



SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



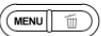
[◀][▶]で [オン] を選び、



SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

4



MENUを押して、[撮影] メニューを終了します。

撮影モードに戻ります。

5



被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。ピントについて P44



6



半押しのまま、シャッター ボタンをさらに押し込みます（全押し）。

3枚連写撮影され、液晶モニターに○×付きの3枚の画像が表示されます。

- 操作音の設定が【オン】になっている場合（初期設定は【オン】 P72 ）は、連続3回のシャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- 撮影後に、動作確認用ランプが点滅 P28 している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中のため、次の撮影はできません。

7



SETを押して最も手ぶれの少ない（○のついた）画像を保存します。

- 3枚全てを保存したい場合はMENUを押します。

ここで選んだ手ぶれ検出のオン／オフは、撮影モード、シーンモードを変更したり、電源をオフにしたり、初期化する P40 操作を行うなどすると【オフ】に戻ります。ただし、プログラムAEモードの場合は初期化する操作を行った場合のみ【オフ】に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

モード：  静止画撮影 /  動画撮影

本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます。

セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

◎：(自分撮影) **P115**

カメラが顔を認識すると撮影されます。(静止画撮影時のみ)

◎：2秒後に撮影されます。

- ・暗い場所やズームを使うなど手ぶれが起きやすい条件下での撮影時に、シャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに効果的です。

◎：10秒後に撮影されます。

◎：10秒後と引き続きその2秒後の2回撮影されます。(静止画撮影時のみ)

- ・集合写真などを撮影する場合に、念のために2回撮影しておきたい場合などに便利です。

タイマー時間を設定して撮影する

1



◎ ([▼]) を押して、セルフタイマー設定選択画面を表示させます。

2



【◀】【▶】で設定したいタイマー時間を使い、



SETを押します。

液晶モニターに選んだタイマー時間がアイコン表示されます。(セルフタイマー・オフの場合は表示されません)

3



被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます(フォーカスロック)。

ピントについて P44



4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます(全押し)。

- セルフタイマーランプ(レッド)の点滅と液晶モニターに数字がカウントダウン表示され、選んだタイマー時間後に撮影されます。



- セルフタイマー撮影を途中で解除する場合は、シャッターボタンを押します。
- 撮影モードを【3枚連写】、【AE連写】、【30枚高速連写】に設定している場合 P105 やパノラマアシストモードの場合 P84 は、は設定できません。
- 笑顔認識モードの場合 P83 はセルフタイマー機能は設定できません。
- 撮影時の各設定(画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正值など)はセルフタイマー時も有効です。
- 一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

自分撮影機能で撮影する

1

⑤([▼])を押して、セルフタイマー設定選択画面を表示させます。

2

【◀】【▶】で⑥自分撮影を選び、



SETを押します。

液晶モニターに⑦が表示されます。

3

背景を決めてシャッターボタンを全押しし、
カメラの前に回り込みます。

- ・カメラが顔を認識するとセルフタイマーランプ(レッド)が1回点滅し撮影されます。



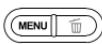
■ 日付プリントを設定する

モード： 静止画撮影

撮影画像に撮影時の日付を入れる（初期設定は【オフ】）ことができます。

日付プリントの設定を【オン】にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が入ります。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1



MENUを押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【日付プリント】を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3



【◀】【▶】で【オン】または【オフ】を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、【撮影】メニューに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、初期化する P40 ➤ 操作を行うと【オフ】に戻ります。
- 日付プリントの文字は水色のため、背景が同様の色の場合は文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの形式や、文字の色や大きさを設定することはできません。

再生(静止画・動画)について

■ 赤目を補正する

モード：  再生

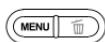
ストロボ撮影で赤く写ってしまった目を補正することができます。

1



【▲】【▼】【◀】【▶】で赤目を補正したい画像を選びます。

2



MENUを押して[再生]メニューを表示させます。

3



【▲】【▼】で[赤目補正]を選び、



SETを押します。

選択画面が表示されます。

4



【◀】【▶】で[実行]または[キャンセル]を選び、



SETを押します。

- ・[実行]を選ぶと、赤目補正を実行し、上書きを確認する画面が表示されます。
- ・[キャンセル]を選ぶと赤目補正を中止して、[再生]モードに戻ります。

5



【◀】【▶】で【実行】または
【キャンセル】を選び、

SETを押します。

- ・【実行】を選ぶと、赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存され、再生モードに戻ります。
- ・【キャンセル】を選ぶと赤目補正を中止して、再生モードに戻ります。

- 写真によっては赤目を補正できない場合もあります。
- 動画像の場合は赤目を補正できません。

■ 明るさを補正する

モード：再生

撮影した画像の明るさを補正することができます。

1



【▲】【▼】【◀】【▶】で明るさを補正したい画像を選びます。

2



MENUを押して[再生]メニューを表示させます。

3



【▲】【▼】で[明るさ補正]を選び、



SETを押します。
選択画面が表示されます。

4



【◀】【▶】で[低]または[高]を選び、



SETを押します。
上書きを確認する画面が表示されます。

5



【◀】【▶】で【実行】または
【キャンセル】を選び、

SETを押します。

- ・ [実行] を選ぶと、明るさ補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存され、再生モードに戻ります。
- ・ [キャンセル] を選ぶと明るさ補正を中止して、再生モードに戻ります。

動画像の場合は明るさを補正できません。

■ スライドショー再生をする

モード：回 再生

メモリー内にある全ての画像を【3秒】／【5秒】／初期設定／【10秒】間隔でスライドショー再生することができます。

1



MENUを押して【再生】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【スライドショー】を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

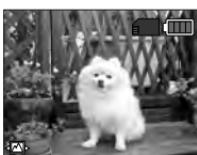
3



【◀】【▶】で【3秒】、【5秒】、【10秒】のいずれかを選び、

SETを押します。

表示中の画像から設定した再生間隔で、スライドショー再生を開始します。



...

・再生中に、SETを押すと、スライドショー再生をストップします。

- ・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- ・スライドショー再生中の表示は切り替えることはできません。
- ・スライドショー再生中はオートパワーオフ機能 P33 ははたらきません。

■ 画像プロジェクトを設定する

モード：再生

誤操作による画像の消去を防止するために、画像ファイルにプロジェクトをかけることができます。

画像プロジェクトを設定する方法には、

- ・1枚ずつプロジェクトを設定する
 - ・全ての画像のプロジェクトを設定する
- の2つの方法があります。

- プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロジェクト設定を解除してください。
- プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする
P133 操作を行うと消去されます。
- プロテクトを設定していないくとも、SDメモリーカードのライトプロジェクト（書き込み禁止）スイッチ **P39** を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。

1枚ずつプロジェクトを設定する

1



【▲】【▼】【◀】【▶】でプロジェクトを設定したい画像を選びます。

動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

2

【▲】【▼】で[画像プロテクト]を選び、



SETを押します。

画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で[現在の画像]を選び、



SETを押します。

プロテクト確認の画面が表示されます。

4

【◀】【▶】で[設定]または[解除]を選び、



SETを押します。

選んだ内容を実行し、再生モードに戻ります。
続けてプロテクト設定／解除を行う場合は、
再度画像を選び、MENUを押して[再生]
メニューから操作してください。

- ・[設定]を選ぶと、選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに が表示されます。

液晶モニターの表示が「オフ」に設定されている場合は、 は表示されません。

- ・[解除]を選ぶと、選んだ画像のプロテクトが解除されます。

全ての画像のプロジェクトを設定する

1



MENUを押して [再生] メニューを表示させます。

2



[▲][▼]で [画像プロジェクト] を選び、

SETを押します。

画像プロジェクトの方法選択画面が表示されます。

3



[◀][▶]で [全ての画像] を選び、

SETを押します。

プロジェクト確認の画面が表示されます。

4



【◀】【▶】で [設定] または [解除] を選び、



SETを押します。

選んだ内容を実行し、再生モードに戻ります。
続けてプロテクト設定／解除を行う場合は、
MENUを押して [再生] メニューから操作
してください。

- ・[設定] を選ぶと、全ての画像がプロテクトされ、液晶モニターに が表示されます。

液晶モニターの表示が「オフ」に設定されている場合は、 は表示
されません。

- ・[解除] を選ぶと、全ての画像のプロテクトが解除されます。

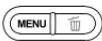
■撮影後に音声メモを入れる(アフレコ機能)

モード：再生

撮影した画像にあとから音声メモを入れる(録音する)(初期設定は[オフ])ことができます。

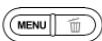
- 既に録音されている音声メモを録音し直すこともできます。
- 録音された音声メモのみを消去することはできません。
- 動画像に音声メモを入れることはできません。
- 音声メモファイルについては、音声メモファイルについて P128 をご覧ください。

1



【▲】【▼】【◀】【▶】で音声メモを設定したい画像を選びます。

2



MENUを押して[再生]メニューを表示させます。

3



【▲】【▼】で[音声メモ]を選び、

SETを押します。

再生モードに戻ります。

- 既に音声メモが録音されている画像を選択した場合は「再録音」と表示されます。

4**SETを押して、録音を開始します。**

録音中は液晶モニターに録音可能秒数がカウント表示されます。

5**録音をストップする場合は、SETを押します。**

- 音声メモ録音は、最長約30秒です。SETを押さなくても、約30秒で自動的にストップします。
- メモリー残量が少ない場合は、録音できない場合があります。
- カメラ前面部にあるマイクを指などでふさがないようにご注意ください。
また録音の対象がカメラから離れるときれいに録音できません。

■ 音声メモを再生する

モード：  再生

アフレコ機能で録音した音声メモを再生することができます。

1



【▲】【▼】【◀】【▶】で音声メモが録音されている静止画を選びます。
音声メモが録音されている画像には
 が表示されます。

2



SETを押すと、再生を開始します。
再生中は液晶モニターに再生秒数が
カウント表示されます。

3



音声メモ再生をストップする場合は、SETを押します。

音声メモファイルについて

| | |
|--------------|--------------------|
| 記録ファイルフォーマット | WAV (PCM方式) / モノラル |
| 録音時間 | 最長約30秒 |

音声メモファイル(ファイル形式：WAV)をパソコンで再生するには、
Windows Media Playerなどの記録ファイルフォーマットに対応した再生用の
ソフトウェアが必要です。

■ 撮影後に画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を変更する

モード：再生

撮影した静止画の画像サイズと画質を変更することができます。

- 画像サイズを大きくしたり、画質を上げることはできません。
- 動画の画像サイズと画質は変更できません。

画像サイズを変更(リサイズ)する

1



MENUを押して[再生]メニューを表示させます。

2



[▲][▼]で[リサイズ]を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。



3



[◀][▶]で画像サイズを選び、
選択不可の数値はグレーで表示されます。

SETを押します。

リサイズした画像は元の画像サイズに戻すことはできません。操作は慎重に行ってください。



画質を変更する

1



MENUを押して【再生】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【画質変更】を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

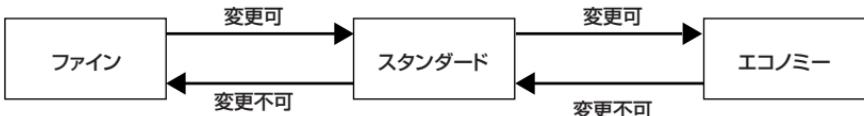


【◀】【▶】で画質を選び、

選択不可の項目はグレーで表示されます。

SETを押します。

画質を変更した画像は元の画質に戻すことはできません。操作は慎重に行ってください。



■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする (コピー to SDメモリーカード機能) モード：回再生

内蔵メモリ(32MB)に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。

SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリを使用して撮影した場合などで、あとで画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリ内に画像がある場合で、SDメモリーカードを挿入している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、必ずバッテリー残量を確認してから行ってください。コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。バッテリー残量が□の場合は、必ずバッテリーを充電してから本操作を行ってください。
- 本操作を行うと、内蔵メモリ内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1



MENUを押して【再生】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【カードへコピー】を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。



3



【◀】【▶】で【実行】または
【キャンセル】を選び、

SETを押します。

- ・ [実行] を選ぶと、内蔵メモリ内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーして再生モードに戻ります。
- ・ [キャンセル] を選ぶとコピーを中止して、再生モードに戻ります。

SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、コピーを途中で終了します。

消去について

■ フォーマットする モード： 静止画撮影 / 動画撮影 / 再生

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

SDメモリーカードについて P14 をあわせてご覧ください。

- ・新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・フォーマットすると内蔵メモリまたはSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。
※プロテクトされている画像 P122 も消去されます。
- ・フォーマットを行うときは、バッテリー残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できない場合があります。

1



MENUを押して各メニューから、

【▲】【▼】で [設定] を選び、

SETを押して、[設定] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で【フォーマット】を選び、

SETを押します。

- この時点ではまだフォーマットされていません。

3

【◀】【▶】で【実行】または
【キャンセル】を選び、

SETを押します。

- ・[実行]を選ぶと、フォーマットが実行され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。
- ・[キャンセル]を選ぶと、フォーマットを中止して、[設定]メニューに戻ります。

- SDメモリーカードが本機に挿入された状態でフォーマットした場合はSDメモリーカードをフォーマットします。
- SDメモリーカードが本機に挿入されてない状態でフォーマットした場合は内蔵メモリーをフォーマットします。

パソコン接続編

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

- パソコンの動作環境を確認する ————— 136
- パソコンと接続する場合の流れ ————— 136
 - ① カメラとパソコンを接続する ————— 137
 - ② 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ／ライタ接続) ————— 139
 - ③ カメラを取り外すときは ————— 141
- パソコン接続でお困りの時の確認方法 ————— 142

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。

接続する前に必ずご確認ください。

□OS : Microsoft Windows XP/Vista/7 日本語版

□USBインターフェース（2.0仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- パソコン側の機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。

パソコンには [リムーバブルディスク] として認識されます。

1

カメラとパソコンを接続する P137

※初回接続時は [新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。



2

[マイコンピュータ] または [コンピュータ] を開き、[リムーバブルディスク] (=カメラ) 内から画像ファイルをパソコンにコピーする P139



3

カメラを取り外す P141

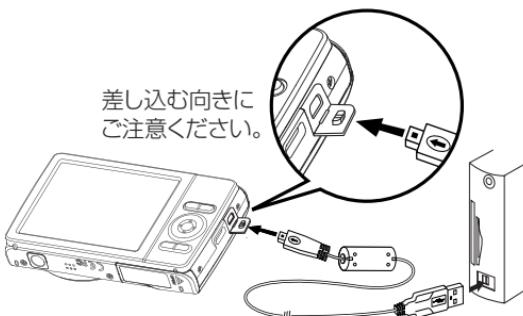
1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずパソコンの起動が完了した状態でカメラの電源をオフにして行ってください。
- USB接続中はオートパワーオフ機能 P33 ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されます。
- コピー(通信)中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ずカメラを取り外すときは P141 に従って操作してください。
- パソコンでのフォーマットは行わないでください。

1 カメラの電源をオフにして、USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子(AV兼用)へしっかりと接続します。

パソコンは起動した状態で操作してください。



2 カメラの電源をオンにします。

[USB] メニューが表示されます。

3



【▲】【▼】で [PC] を選び、

SETを押します。

液晶モニターがオフになります。

- [充電] はバッテリーを充電する場合 P32 に選ぶモードです。パソコンに接続する場合は、[PC] を選んでください。
- 初回接続時は、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行なうため、[新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードが表示される場合があります。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、
[何もしない] を選び、[OK] をクリック、または右上の [×] をクリックします。

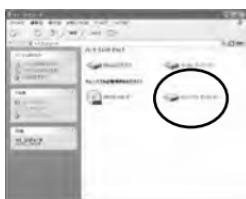


2 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ/ライタ接続)

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所(マイドキュメント内など)へコピーしてから行うことをおすすめします。

イラストはWindows XPで説明しています。

1



① カメラとパソコンを接続する P137 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ] または [コンピュータ] から [リムーバブルディスク] をダブルクリックして開きます。

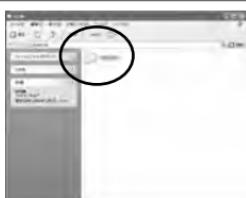
- [リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、パソコン接続でお困りの時の確認方法 P142 をご覧ください。

2



[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

3



[100_HCAMS](コピーしたい画像の入っている) フォルダをダブルクリックして開きます。



パソコンにコピーする(取り込む)画像
ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所
(マイドキュメント内など)にドラッグ&
ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所(マイコンピュータなど)から任意のデータを、フォルダ(カメラ)内にドラッグ&ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ&ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。

画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動(ドラッグ)させ、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)ことです。

- コピー(通信)中はUSBケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ(カメラ)内にコピーしたデータはフォーマットする P133 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2



タスクバー

〈Windows 7の場合〉

ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す



〈Windows Vistaの場合〉

ハードウェアの安全な取り外し



〈Windows XPの場合〉

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E) を安全に取り外します



【取り出す(取り外し／取り外します)】をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK]をクリックします。

(Windows XPでは[OK]のクリックは不要です。)

4 カメラを取り外します。

■ パソコン接続でお困りの時の確認方法

カメラをパソコンに接続しても、「パソコンに認識できない」場合等、パソコン接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 最初に、ご使用のパソコンに接続されているすべてのUSB機器を取り外し、パソコンとカメラのUSB端子にカメラに同梱されている専用のUSBケーブルの端子が奥までしっかりと装着されているか、ご確認ください。

2 パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？

Windows 98/98SE/ME/2000

→本機はWindows 2000以前のOSのサポートはいたしておりません。

→Windows 7をご使用の場合は、**3**へ進んでください。

Windows Vistaをご使用の場合は、**4**へ進んでください。

Windows XPをご使用の場合は**5**へ進んでください。

3 (Windows 7)

次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



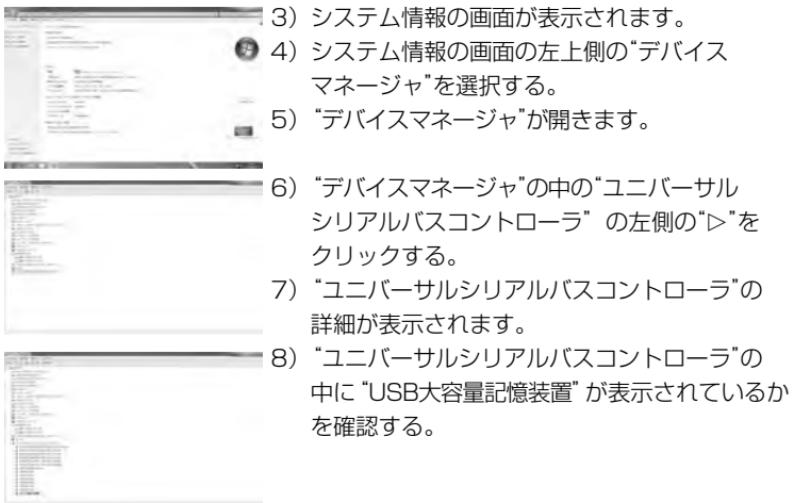
1) “スタート”をクリックする。



2) “コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。

“プロパティ”が表示されない。

→**8**へ進んでください。



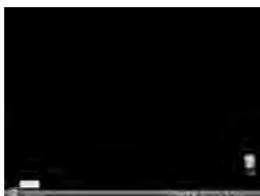
確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

- **6** へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。
- **10** へ進んでください。

4 (Windows Vista)

次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



- 1) “スタート”をクリックする。



- 2) “コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。
“プロパティ”が表示されない。
→ **8** へ進んでください。



- 3) システム情報の画面が表示されます。
- 4) システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。
- 5) “ユーザーアカウント制御”的画面が表示されますので、“続行”を選択する。



- 6) “デバイスマネージャ”が開きます。
- 7) “デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的左側の“+”をクリックする。



- 8) “ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的詳細が表示されます。
- 9) “ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的中に“USB大容量記憶装置”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **6** へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **10** へ進んでください。

5

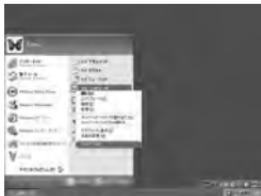
(Windows XP)

次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

- 1) “スタート”をクリックする。





- 2) “マイコンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。“プロパティ”が表示されない。
→ **8**へ進んでください。



- 3) “システムのプロパティ”が開きます。
4) “システムのプロパティ”上段の“ハードウェア”を選択する。



- 5) “デバイスマネージャ”をクリックする。



- 6) “デバイスマネージャ”が開きます。
7) “デバイスマネージャ”の中の“USB”(Universal Serial Bus)コントローラの左側の“+”をクリックする。



- 8) USB”(Universal Serial Bus)コントローラの詳細が表示されます。
9) USB”(Universal Serial Bus)コントローラの中に“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **6**へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **10**へ進んでください。

6 他のパソコンに接続した場合、カメラはパソコンに認識されますか？

はい： 7 へ進んでください。

いいえ： 10 へ進んでください。

7 カメラが認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい： 11 へ進んでください。

いいえ： 9 へ進んでください。

8 “コンピュータ”(Windows 7/Vistaの場合)もしくは、“マイコンピュータ”(Windows XPの場合)の“プロパティ”が表示されない。

要因：・パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。

パソコンの管理者に確認してください。

9 “USB大容量記憶装置”が表示されているが、“コンピュータ”等に表示されない。(Windows 7/Vistaの場合) “USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているが、“マイコンピュータ”等に表示されない。(Windows XPの場合)

要因：・パソコンのシステムもしくは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者もしくは、パソコンメーカー様へ、ご確認下さい。

10 “USB大容量記憶装置”(Windows 7/Vistaの場合)もしくは、“USB大容量記憶装置デバイス”(Windows XPの場合)が表示されていない

要因：・カメラもしくはUSBケーブルが壊れている可能性がございますので、ご購入店へお持ちください。
・パソコンのUSB端子もしくは、システム上の問題である場合もございます。詳しくは、パソコンメーカー様等へ、ご確認下さい。

11 カメラをパソコンに再接続したら正常に認識できた。

要因：・パソコンへのUSB接続時の認識が何らかの要因により失敗したことによる可能性が考えられます。数回接続を確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

付録

| | |
|-------------------|-----|
| ■ 故障とお考えになる前に | 148 |
| ■ メニュー項目と設定内容 | 156 |
| ■ 仕様 | 158 |
| ■ 索引 | 161 |
| ■ メモリーカード内のフォルダ構造 | 162 |
| ■ サービス／ご相談窓口 | 163 |
| ■ クイックスタートガイド | 164 |

■ 故障とお考えになる前に

バッテリー・電源

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-----------------------|--|--|
| 電源がオンにならない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源ボタンを押す操作が短すぎた。 ●バッテリーが正しく入っていない。 ●バッテリーが消耗している。 ●内部システムなどの誤動作。 | <ul style="list-style-type: none"> →もう一度しっかりと電源ボタンを押す。P33 →バッテリーを正しく入れる。P30 →バッテリーを充電する P32 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 →バッテリーを5秒以上取り外し、もう一度バッテリーを正しく入れてから、電源をオンにする。 |
| バッテリーの消耗が早い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●温度が極端に低いところで使用している。 ●高解像度、ストロボ撮影を多用している。 ●再生モードを多用している。 | <ul style="list-style-type: none"> →バッテリーを多めにご用意ください。 →画像サイズを小さくする。P87 →リサイズ、画質変更する。P129 →ストロボ撮影を多用しない。 →再生モードを多用しない。 |
| 電源が途中でオフになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●オートパワーオフ機能 P33 がはたらいた。 ●バッテリーが消耗している。 | <ul style="list-style-type: none"> →もう一度電源をオンにする。P33 →バッテリーを充電する P32 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| バッテリーの残量表示が正しく表示されない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。 ●バッテリーが消耗している。 | <ul style="list-style-type: none"> →10℃～30℃の範囲でご使用ください。 →バッテリーを充電する P32 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |

静止画・動画を撮る

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------------|--|--|
| 液晶モニターに被写体が写らない。 | ●再生モードになっている。 | →MODEまたは [REC] を押して、撮影モードに切り替える。P19 |
| | ●電源がオフになっている。 | →電源をオンにする。P33 |
| | ●暗いところで撮影している。 | →明るい場所で撮影する。 |
| 撮影できない。 | ●画像記録中、ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 | →動作確認用ランプの点滅が終わってから撮影する。P28 |
| | ●静止画撮影時、動画撮影モードになっている。 | →MODEを押して、静止画撮影モードに切り替える。P19 |
| | ●静止画撮影時、再生モードになっている。 | →MODEまたは [REC] を押して、静止画撮影モードに切り替える。P19 |
| | ●動画撮影時、静止画撮影モードになっている。 | →MODEを押して、動画撮影モードに切り替える。P19 |
| | ●動画撮影時、再生モードになっている。 | →MODEを2回または [REC] と MODE を押して、動画撮影モードに切り替える。P19 |
| | ●オートパワーオフ機能 P33 がはたらき、電源がオフになった。 | →もう一度電源をオンにする。P33 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P70 |
| | ●メモリー残量がない。 | →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P60 か、別のSDメモリーカードと交換する P38 。 →リサイズ、画質変更する。P129 |
| | ●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カード保護」が表示) | →SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P39 |
| | ●SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。 | →データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。P133 |

付

録

故障とお考えになる前に

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------|---|---|
| ストロボ撮影ができない。 | ●ストロボモードが④発光禁止モードになっている。 | →ストロボモードをオートもしくは発光モードに切り替える。P45 |
| | ●被写体が明るい。 | →被写体が明るい場合はストロボ発光しません。 |
| | ●バッテリー残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。 | →バッテリーを充電するP32▶か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。 | ●被写体が遠い。 | →ストロボ連動範囲(約0.3m～約1.8m(T)／約3.0m(W))で撮影する。 |
| ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。 | ●被写体が近い。 | →ストロボ連動範囲(約0.3m～約1.8m(T)／約3.0m(W))で撮影する。 |
| 画像がぼやけている。 | ●ストロボに指がかかっている。 | →カメラを正しく構える。 |
| | ●被写体が近すぎる。 | →撮影可能範囲(スーパークロ時：約2cm以上、クロ時：約20cm以上、標準時：約60cm以上)で撮影する。 |
| | ●レンズが汚れている。 | →汚れを拭いてください。 |
| | ●画像ぶれ・手ぶれ | →しっかりとカメラを固定(三脚を使うなど)して撮影する。 →手ぶれ補正モードを使用する。P104 |
| 画像にノイズがある。 | ●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。 | →電磁波の影響がない場所で撮影してください。 |
| 動画撮影時に撮影が途中でストップする。 | ●撮影に必要なメモリー残量がない。 | →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去するP60▶か、別のSDメモリーカードと交換する。P38 |
| 静止画／動画が見れるのに撮影できない。 | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電するP32▶か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| 内蔵フラッシュメモリー(32MB)に記録できない。 | ●SDメモリーカードが装着されている。 | →電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。P38 |

静止画・動画を見る

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------|---|---|
| 再生できない。 | ●再生モードになっていない。 | → □を押して再生モードに切り替える。P19 |
| | ●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。 | → JPEG準拠(DCF2.0、EXIF2.2準拠)の画像か確認してください。 |

画像／データを消去する

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--------------|--|---|
| 消去できない。 | ●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カード保護」が表示) | → SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P39 |
| | ●画像プロテクトが設定されている。 | → 画像プロテクトの設定を解除する。P122 |
| 誤って消去してしまった。 | ●一度消去したファイルは元に戻せません。 | → 本当に不要な画像(ファイル)かどうかよく確かめてから行ってください。P60 |

テレビを使って再生／撮影する

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------|--------------------------|---|
| テレビに画像が表示されない。 | ●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。 | → テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。 |
| | ●AVケーブルが正しく接続されていない。 | → テレビとカメラからAVケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P65 |
| テレビの画像が乱れている(カラーにならないなど)。 | ●[ビデオ出力]の設定が[PAL]になっている。 | → [NTSC]に切り替える。P63 |

付

録

故障とお考えになる前に

画像ファイルをパソコンにコピーする

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|--|
| カメラがパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク]が表示されないなど) | <ul style="list-style-type: none"> 付属のUSBケーブルを使用していない。 USBケーブルが正しく接続されていない。 パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。 本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。 パソコンのUSB機能が有効になっていない。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。 | <ul style="list-style-type: none"> 付属のUSBケーブルを使う。 パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。 他のUSBポートに接続する。 キーボード／マウス以外は取り外す。 [USB大容量記憶デバイス]に、黄色い「！」マークが付いているときは、[USB大容量記憶デバイス]を[削除]してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。 [USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 [USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 |
| USB接続してもカメラの電源がオフになる。 | <ul style="list-style-type: none"> USBケーブルが正しく接続されていない。 カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。 | <ul style="list-style-type: none"> パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。 他のUSBポートに接続する。 USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。 |
| カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。 | <ul style="list-style-type: none"> 通信中にカメラを取り外した。 「カメラを取り外す」操作を行わないとカメラを取り外した。 | <ul style="list-style-type: none"> 内部のデータが破損する恐れがあります。 必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。 「カメラを取り外すときは」P141に従って操作する。 |

〈デバイスマネージャ〉

〔デバイスマネージャ〕は、〔マイコンピュータ〕から右クリックで〔プロパティ〕を選ぶか、〔コントロールパネル〕から〔システム〕をダブルクリックして、〔システムのプロパティ〕から開きます。



その他

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 言語が英語になっている。 | ● [言語 (Language)] が [English] なっている。 | → [言語] を [日本語] に切り替える。 P68 |
| 液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。 | ● 液晶の性質による現象 | → 故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。 |
| 液晶モニターに光の帯が出る | ● CCDセンサーの性質による現象 | → 故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。※動画には記録されます。 |
| カメラの操作ができない。 (動作確認用ランプの点灯が消えないなど) | ● 内部システムやSDメモリーカードなどの誤動作 | → バッテリーを取り外し、しばらく放置してからバッテリーを入れ直す。 → SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。 P38 → 別のSDメモリーカードと交換し、確認する。 → お買い上げご販売店へご相談ください。 |
| カメラの操作ができない。 | ● バッテリーが消耗している。 | → バッテリーを充電する P32 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| レンズが収納されない。 | ● バッテリーが消耗している。 | → バッテリーを充電する P32 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 → 再度電源をオン／オフにしても、レンズが収納されない場合は、電源オン／オフの操作を数回繰り返して行ってください。 |

付

録

故障とお考えになる前に

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-----------------|--------------------------------|--|
| ディスプレイ表示が突然消える。 | ●オートパワーオフ機能 P33 がはたらいた。 | →もう一度電源をオンにする。 P33 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。 P70 →本機はオートパワーオフのオン／オフに関わらず、約1分間無操作状態が続くと、バッテリーの消費電力をおさえるため、自動的に液晶モニターを消灯します(動作確認用ランプは点灯したまま)。再度使用する場合は、本体の電源ボタン以外のいずれかのボタンを操作することで液晶モニターが復帰します。 電源ボタンを押した場合は電源が切れます。 |

警告表示など

| 表示 | 原因 | 処置 |
|---------------|---|--|
| メモリーエラー | ●内蔵メモリに異常が発生した可能性がある。 | →SDメモリーカードを本機から取り外し、内蔵メモリのフォーマットを行ってください。 P133 |
| カードエラー | ●SDメモリーカードが本機でフォーマットされていない。 | →SDメモリーカードを本機でフォーマットしてください。 P133 |
| | ●SDメモリーカードが壊れている。 | →お使いのSDメモリーカードのメーカーへお問い合わせください。 |
| カード保護 | ●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。 | →SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除してください。 |
| カード残量がありません | ●SDメモリーカードに空き容量がない。 | →画像を消去する P60 か、空き容量のあるSDメモリーカードを使用してください。 →画像をリサイズ P129 、または画質を変更 P130 して、空き容量を増やしてください。 |
| メモリーに空きがありません | ●内蔵メモリに空き容量がない。 | →画像を消去して、空き容量を増やしてください。 →画像をリサイズ P129 、または画質を変更 P130 して、空き容量を増やしてください。 |
| 画像がありません | ●再生できる画像ファイルが入っていない。 | 撮影してください。 |

| 表示 | 原因 | 処置 |
|-------------------|----------------------|--|
| ファイルエラー | ●ファイルに異常が発生した可能性がある。 | →なんらかの原因でファイルが壊れた可能性があります。 |
| ファイル保護 | ●画像プロテクトが設定されている。 | →画像プロテクトの設定を解除してください。P122 |
| バッテリー残量 がありません | ●バッテリーの残量がありません。 | →バッテリーを充電する P32 か、十分に充電されたバッテリーを使ってください。 |

付

録

故障とお考えになる前に

■ メニューと設定項目

【 】: 初期設定

| 動作モード | メニュー | 設定項目 | 設定内容 |
|----------|--------|----------|---|
| 静止画撮影モード | 撮影メニュー | 画像サイズ | P87 [14M]/8M/4M/2M/VGA |
| | | ISO | P91 【オート】/100/200/400/800/1600/3200 |
| | | 画質 | P88 【ファイン】/スタンダード/エコノミー |
| | | ホワイトバランス | P93 【オート】/白熱灯/蛍光灯1/蛍光灯2/晴天/曇天/マニュアル |
| | | シャープネス | P96 ハード/【スタンダード】/ソフト |
| | | 色効果 | P98 【スタンダード】/ビビット/セピア/モノクロ/ブルー/レッド/グリーン/イエロー/パープル |
| | | コントラスト | P100 高/【中】/低 |
| | | 測光方式 | P102 【マルチ】/スポット/アベレージ |
| | | 手ぶれ補正 | P104 【オン】/オフ |
| | | 撮影モード | P105 【シングル】/3枚連写/AE連写/カップル撮影/30枚高速連写 |
| | | クイック撮影 | P109 オン/【オフ】 |
| | | デジタルズーム | P48 オン/【オフ】 |
| | | 手ぶれ検出 | P111 オン/【オフ】 |
| | | プレビュー | P80 【オン】/オフ |
| | | 日付プリント | P116 オン/【オフ】 |
| 動画撮影モード | 撮影メニュー | 画像サイズ | P87 [VGA]/Q-VGA |
| | | 画質 | P88 【ファイン】/スタンダード |
| | | 色効果 | P98 【スタンダード】/ビビット/セピア/モノクロ/ブルー/レッド/グリーン/イエロー/パープル |
| | | 音声 | P54 【オン】/オフ |
| | | デジタルズーム | P48 オン/【オフ】 |

| 動作モード | メニュー | 設定項目 | 設定内容 |
|--------|--------|------------|---|
| 再生モード | 再生メニュー | 消去 | P60 画像を消去します。 |
| | | 赤目補正 | P117 撮影後に赤目を補正します。 |
| | | 明るさ補正 | P119 撮影後に明るさを補正します。 |
| | | スライドショー | P121 3秒／【5秒】／10秒 |
| | | 画像回転 | P58 左90度／右90度 |
| | | 画像プロテクト | P122 画像プロテクト設定画面を表示します。 |
| | | 音声メモ | P126 音声メモを録音します。 |
| | | リサイズ | P129 画像サイズを変更します。 |
| | | 画質変更 | P130 画質を変更します。 |
| | | カードへコピー | P131 内蔵メモリからSDメモリーカードへ画像をコピーします。 |
| 各モード共通 | 設定メニュー | 日付／時刻 | P34 日付／時刻の設定画面を表示します。 |
| | | 言語 | P68 【日本語】／English（英語）／简体中文（简体字）／繁體中文（繁体字） |
| | | オートパワーオフ | P70 オフ／【1分】／2分／3分 |
| | | 操作音 | P72 【オン】／オフ |
| | | 画面表示 | P74 【標準】／全表示／オフ |
| | | ビデオ出力 | P63 【NTSC】／PAL |
| | | ファイル番号リセット | P76 画像ファイル番号をリセットします。 |
| | | 周波数 | P36 【50 Hz】／60 Hz |
| | | 液晶の明るさ | P78 【標準】／明るい |
| | | フォーマット | P133 内蔵メモリ、SDメモリーカードをフォーマットします。 |
| | | メモリー情報 | P38 使用メモリーのサイズ、メモリー残量を表示します。 |
| | | システム情報 | バージョン情報を表示します。 |
| | | 初期化 | P40 各設定内容を初期化します。 |

■ 仕様

| | | |
|--------------|----------------|--|
| 有効画素数 | | 約1400万画素 |
| 撮像素子 | | 1/2.33インチCCDイメージセンサー(総画素数: 約1400万画素) |
| 記録媒体 | | SDメモリーカード(32/64/128/256/512MB/1/2GB) SDHCメモリーカード(4/8/12/16/32GB)対応(※1) 内蔵32MBフラッシュメモリー(※2) |
| 静止画 | 記録画像ファイルフォーマット | JPEG準拠(DCF2.0、EXIF2.2準拠) |
| | 記録画素数 | 4288×3216(約1400万画素)/3264×2448(約800万画素)/ 2304×1728(約400万画素)/1600×1200(約200万画素)/ 640×480(約30万画素) |
| | 圧縮率 | ファイン(低圧縮モード)/スタンダード(標準圧縮モード)/エコノミー(高压縮モード) |
| 動画 | 記録画像ファイルフォーマット | AVI(画像データ: Motion JPEG、音声: WAV(モノラル)) |
| | 記録画素数 | VGA(640×480)/QVGA(320×240) |
| | 圧縮率 | ファイン(低圧縮モード)/スタンダード(標準圧縮モード) |
| | フレームレート | 30フレーム/秒 |
| 音声ファイルフォーマット | | WAV(PCM方式)、モノラル |
| レンズ | 構成 | 7群8枚(非球面レンズ6枚) |
| | 焦点距離 | 5.0(W)~35(T)mm [35mmフィルム換算: 約28~196mm] |
| | F値(最大値) | F3.0(W)~5.9(T) |
| オートフォーカス方式 | | TTLコントラスト方式 |
| ズーム | | 光学ズーム: 7倍、デジタルズーム: 6倍(光学ズーム併用時最大42倍) |
| 液晶モニター | | 3.0型低温ポリシリコンTFTカラー液晶、約46万画素(960×480) |
| 撮影可能範囲 | | 標準: 約60(W)/約100(T)cm~∞、 マクロ: 約20(W)/約60(T)cm~∞、スーパーマクロ: 約2cm~∞ |
| シャッター | | 電子シャッター、1/1~2000秒 |
| 撮像感度 | | オート/ISO100/200/400/800/1600/3200相当 |
| 測光方式 | | マルチ/スポット/アベレージ測光 |
| 露出 | 制御方式 | プログラムAE |
| | 補正 | -2.0EV~+2.0EV(1/3EVステップ) |
| ホワイトバランス | | オート/プリセット(白熱灯/蛍光灯1/蛍光灯2/晴天/雲天)/マニュアル |
| ストロボ | 連動範囲(推奨) | 約0.3m~約3.0(W)/約1.8(T)m |
| | 発光モード | オート/強制発光/発光禁止/赤目軽減/夜景フラッシュ |
| マイク/スピーカー | | 内蔵型/内蔵型(モノラル) |
| セルフタイマー | | オフ/自分撮影/2秒/10秒/10+2秒 |
| 撮影モード | | シングル(通常)撮影、3枚連写、AE連写(3枚)、カップル撮影、 30枚高速連写、動画(音声付き)撮影 |
| 再生モード | | シングル再生(1倍~4倍(0.5ステップ))、画像回転、スライドショー再生、音声メモ再生、動画再生 |
| オートパワーオフ | | オフ/1分間/2分間/3分間 |

| | |
|----------|--|
| インターフェース | USB端子(USB(2.0仕様)、AV出力(NTSC/PAL)) |
| 電源 | 専用充電式リチウムイオン電池(HLB-5) 専用ACアダプター(付属、AC100V~240V対応)(HDC-1471-001) |
| 外形寸法 | 幅:約97.5×奥行:約19.7×高さ:約57.0mm(突起部除く) |
| 質量 | 約134g(バッテリー、付属品除く) |
| 使用条件 | 0°C~40°C、湿度85%以下(結露しないこと) |

(※1) SDメモリーカード、SDHCメモリーカードは別売です。(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラソリューションズのSDメモリーカード、SDHCメモリーカードを推奨します。

(※2) 内蔵フラッシュメモリーは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約23MBです。

付属品

取扱説明書(保証書付)、専用AVケーブル、専用USBケーブル、ストラップ、カメラポーチ、専用充電式リチウムイオンバッテリー(HLB-5)、専用ACアダプター(HDC-1471-001)

画像記録枚数・時間 (※3)

| 記録画素数 (ピクセル) | JPEG 圧縮率 | 内蔵32MB フラッシュメモリー | SDメモリーカード 1GB(別売) |
|-------------------------|-------------|---------------------|----------------------|
| 4288×3216 (約1400万画素) | ファイン | 約3枚 | 約171枚 |
| | スタンダード | 約6枚 | 約292枚 |
| | エコノミー | 約11枚 | 約489枚 |
| 3264×2448 (約800万画素) | ファイン | 約5枚 | 約246枚 |
| | スタンダード | 約9枚 | 約426枚 |
| | エコノミー | 約17枚 | 約736枚 |
| 2304×1728 (約400万画素) | ファイン | 約9枚 | 約409枚 |
| | スタンダード | 約15枚 | 約670枚 |
| | エコノミー | 約27枚 | 約1,141枚 |
| 1600×1200 (約200万画素) | ファイン | 約16枚 | 約690枚 |
| | スタンダード | 約26枚 | 約1,114枚 |
| | エコノミー | 約45枚 | 約1,872枚 |
| 640×480 (約30万画素) | ファイン | 約56枚 | 約2,324枚 |
| | スタンダード | 約82枚 | 約3,358枚 |
| | エコノミー | 約123枚 | 約5,038枚 |
| 640×480【動画】 | ファイン | 約10秒 | 約7分 |
| | スタンダード | 約19秒 | 約13分34秒 |
| 320×240【動画】 | ファイン | 約32秒 | 約22分25秒 |
| | スタンダード | 約48秒 | 約33分16秒 |

(※3) 画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

バッテリー性能(バッテリー使用時間／枚数の目安) (※4)

| 使用バッテリー | 撮影可能枚数 CIPA (※5) | 静止画再生時間 (※6) | 連続動画撮影時間 |
|---------------------------|---------------------|-----------------|----------|
| 充電式リチウムイオン電池 (HLB-5) (付属) | 約180枚 | 約100分 | 約70分 |

(※4) 標準環境において、液晶モニターON、SDメモリーカード使用、未使用バッテリーを使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。

(※5) CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による撮影条件

- ・30秒間隔でズームのワイド端(広角側)とテレ端(望遠側)で交互に撮影
- ・ストロボを2回に1回発光

- ・10枚撮影ごとに電源をオフにし、バッテリーをはずして10分間放置

(※6) 約3秒1コマを連続で再生した場合

専用充電式リチウムイオンバッテリー (HLB-5)

| | |
|------|--------------------------------|
| 定格電圧 | 3.7V |
| 定格容量 | 650mAh |
| 使用温度 | 0°C~40°C |
| 外形寸法 | 幅:約39.5 × 奥行:約31.4 × 高さ:約5.9mm |
| 質量 | 約15.4g |

・バッテリー使用時の注意 **P15** をあわせてお読みください。

・本バッテリーは別売アクセサリーとしてお求め頂けます。

専用ACアダプター (HDC-1471-001)

| | |
|------|--|
| 定格入力 | AC100~240V (50Hz/60Hz) |
| 定格出力 | DC550mA/5.0V |
| 使用温度 | 0°C~40°C |
| 外形寸法 | 幅:約43.2 × 奥行:約42.0 × 高さ:約22.0mm (突起部・コード部除く) |
| 質量 | 約32.8g |

・ACアダプター使用時の注意 **P14** をあわせてお読みください。

・本ACアダプターは別売アクセサリーとしてお求め頂けます。

■ 索引

ア行

| | |
|---------------|---------|
| 赤目軽減 | 45 |
| 赤目補正 | 117 |
| 明るさ補正 | 119 |
| 色効果 | 98 |
| インテリジェントシーン撮影 | 81 |
| 笑顔認識 | 83 |
| 液晶モニター | 22 |
| オートパワーオフ | 33、70 |
| 音声メモ | 126、128 |

カ行

| | |
|--------------|-------|
| 顔認識 | 49 |
| 各部の名前 | 18 |
| 画質 | 86 |
| 画像サイズ(記録画素数) | 86 |
| カップル撮影 | 107 |
| 画面表示切換 | 27、74 |
| 逆光補正 | 90 |
| 強制発光 | 45 |
| 記録可能枚数/時間 | 159 |
| クイック撮影 | 109 |
| クイックスタートガイド | 166 |
| 言語 | 68 |
| コントラスト | 100 |
| コントロールパネル | 20 |

サ行

| | |
|--------|-----|
| 再生 | 56 |
| 再生メニュー | 157 |
| 再生ズーム | 57 |
| 仕様 | 158 |
| 消去 | 60 |
| 撮影メニュー | 156 |
| 撮影モード | 105 |
| 自動発光 | 45 |
| 自分撮影 | 115 |
| シャッター | 18 |
| シャープネス | 96 |
| 周波数 | 36 |
| 初期化 | 40 |
| 初期設定 | 41 |
| シーンモード | 81 |

ストロボ

| | |
|---------|-------|
| ズーム撮影 | 47 |
| スーパーマクロ | 50 |
| ズーム再生 | 57 |
| ストラップ | 17、18 |
| スポット測光 | 102 |
| スライドショー | 121 |
| 静止画撮影 | 42 |
| 設定メニュー | 157 |
| セルフタイマー | 113 |
| 操作音 | 72 |
| 測光 | 102 |

タ行

| | |
|---------|-----|
| デジタルズーム | 48 |
| 手ぶれ | 44 |
| 手ぶれ検出 | 111 |
| 手ぶれ補正 | 104 |
| テレビ接続 | 63 |
| 電源 | 33 |
| 電源周波数 | 36 |
| 動画撮影 | 52 |
| 動画ファイル | 55 |
| 時計合わせ | 34 |
| 撮る | 42 |

ナ行

| | |
|-------|----|
| 内蔵メモリ | 38 |
| 日時設定 | 34 |

ハ行

| | |
|----------|-------|
| パソコン | 136 |
| パソコン接続 | 137 |
| バージョン情報 | 157 |
| 発光禁止 | 45 |
| バッテリー | 30、32 |
| バッテリー残量 | 31 |
| パノラマアシスト | 84 |
| 半押し | 43 |
| ヒストグラム | 27 |
| 日付プリント | 116 |
| ピント | 44 |
| プログラムAE | 81 |

プロテクト

| | |
|-----------|-------|
| ファイル | 76 |
| フォーカスフレーム | 23、43 |
| フォーカスマード | 49 |
| フォーマット | 133 |
| フォルダ | 76 |
| プレビュー | 80 |
| ホワイトバランス | 93 |

マ行

| | |
|---------------|-----|
| マクロ撮影 | 50 |
| マニュアルホワイトバランス | 94 |
| マルチ測光 | 102 |
| 見る | 56 |
| メニュー | 156 |
| モード | 19 |

ヤ行

| | |
|---------|-----|
| 夜景フラッシュ | 45 |
| 有効画素数 | 158 |

ラ行

| | |
|------|-----|
| リサイズ | 129 |
| 連写 | 105 |
| レンズ | 18 |
| 露出補正 | 89 |

英数

| | |
|----------|--------|
| ACアダプター | 17、32 |
| AE連写 | 105 |
| AFトラッキング | 49 |
| AVケーブル | 17、65 |
| ISO | 91 |
| JPEG | 158 |
| NTSC | 63 |
| OS | 136 |
| PAL | 63 |
| SDカード | 14、38 |
| USB接続 | 137 |
| USBケーブル | 17、137 |
| Windows | 136 |

付

録

仕様
索引

■ メモリー(SDメモリーカード)内のフォルダ構造

DCIM

-  100_HCAM ——— 記録フォルダ
 - HIMG0001.JPG — 静止画像ファイル
 - HIMG0002.AVI — 動画像ファイル
 - HIMG0003.JPG — ボイスメモ(音声)付き静止画の静止画像ファイル
 - HIMG0003.WAV — ボイスメモ(音声)付き静止画の音声ファイル
 - ⋮
 - ⋮
-  101_HCAM ——— 記録フォルダ (※1)
-  102_HCAM ——— 記録フォルダ (※1)
 - ⋮
 - ⋮

(※1) フォルダの通し番号101以降はファイル番号をリセットする操作を行った場合や、ファイルの通し番号が9999を超えた場合に作成されます。

家電品についてのご相談や修理は お買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
エコーベンダーへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120-8802-28
FAX 03-3260-9739

保証期間中は 修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の記載内容にもとづいて修理させていただきます。

保証期間が
過ぎているときは 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理
させていただきます。

保証期間 お買い上げ日から1年です。

- ・「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーベンダーまたはお客様相談センターにて各地区的サービスセンターをご紹介させていただきます。
- ・お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- ・修理をご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

<http://www.hitachi-ls.co.jp/>

付

録

メモリー（SDメモリーカード）内のフルダ構造
サービス／ご相談窓口

MEMO

MEMO

撮影する 詳しくは静止画を撮る P42 をご覧ください。

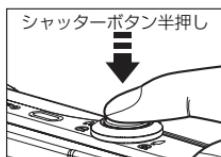
- ・電源をオンにする前に、バッテリーを充電する P32 に従って、バッテリーを充電してください。
- ・SDメモリーカードを使う場合は、SDメモリーカードを使う場合 P38 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。
- ・初めてお使いになる場合や、バッテリーをはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、日付／時刻を合わせる P34 の手順で日付／時刻を設定してください。

1

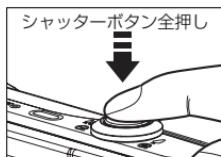
電源ボタンを押し、電源をオンにします。
電源のオン／オフ

2

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

4

被写体をフォーカスフレームに合わせ、
シャッターボタンを半押ししてピントを
合わせます（フォーカスロック）。

5

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し
込みます（全押し）。
シャッターが切れます。

撮影した画像を見る

詳しくは静止画／動画を見る P56 をご覧ください。

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法にはシングル再生の他に、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））P57、画像回転 P58、動画再生 P59、スライドショー再生 P121、音声メモ再生 P128 があります。

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P33

2



□を押して再生モードにします。

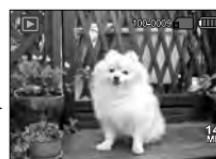
最後に撮影された画像が表示されます
(シングル再生)。

3



【◀】【▶】で画像を選びます。コントロールパネル P20

・動画像の場合最初の1フレームが表示されます。



【▲】【▼】で10枚単位で画像を送ることができます。

【▲】10枚後の画像に送ります。

【▼】10枚前の画像に送ります。

日立デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容に基づきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

| | | | | |
|------------------|-----------------|-----|---------------|---------|
| 型 式 | HDC-1471 | | ※ お 買 い 上 げ 日 | 保 証 期 間 |
| | | | 平 成 年 月 日 | 1 年 |
| ※ お 客 様 | ご 住 所 | 〒 - | | |
| | ご 芳 名 | 様 | | |
| ※ 販 売 店 | 住 所 | 〒 - | | |
| | 店 名 | TEL | | |

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、壟斷、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
- (二) 一般家庭用以外(例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
- (ヘ) 本書のご提示がない場合。
- (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはP163のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP163のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後に修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

 株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)

TEL. 03(3260)9611

FAX. 03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。